Canon
PUB. DIJ-267C
HDビデオカメラ
iVIS HG10
使用説明書

iVIS HG10を使って

楽しく作ろう!! 思い出ライブラリー

赤ちゃんが初めて歩いたときの感動。一等賞をもらったうれしそうな笑顔。ドーンと響く夏の夜の大輪。
心をくすぐる瞬間をHG10に収めましょう。

スペシャルシーンを撮る

夏の夜を彩るワンシーン。夜空に咲く花火をキレイに表現します。

テープとはココが違う! ハードディスクはスゴい

1 重ね撮りの心配がない

撮影した映像は、ハードディスクの空いているところに記録されますので、誤って重ね撮りして大切な記録を消してしまうおそれがありません。

写真も撮れる
撮影中に一瞬を収める

……95

ビデオを撮りながら、同時に写真も撮影できる一台二役のビデオカメラです。

海外でも安心
世界の電圧/周波数に対応

……141

変換プラグがあれば、どこでも充電可能です!一部の国ではテレビで見られます。

手ぶれも恐くない
光学式手ぶれ補正

……64

感動的な映像もブレては台なし。家族の大切な映像を手ぶれから守ります。

映画風に撮る
シネマエフェクトを使う

……47

旅先での印象的な場面。映画のようにしっとりとした雰囲気で撮影しましょう。

2 大容量で残量を気にしない
……35

大容量40GBハードディスクに、高画質XPモードで9時間半撮影可能。残量を気にせず、撮影に集中できます。

3 パソコンで保存や編集

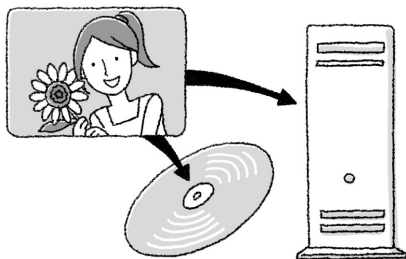
Corelソフトを使って、撮影した映像をパソコンに保存したり、編集・再生ができます。詳しくはCorelソフトウェアガイドをご覧ください。

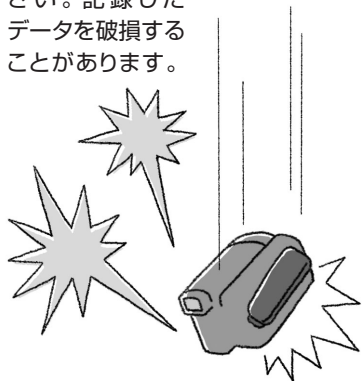
4 一覧画面から一発再生
……39

見たいシーンを探すとき、テープのように巻き戻し、早送りで頭出しする手間は一切不要。インデックス画面からパッと選んで一発再生です。

ハードディスクビデオカメラを使うときに知っておいていただきたいこと

撮影したデータは**必ずバックアップ**してください

万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータはパソコンやDVDなどに定期的にバックアップしてください。

振動や**衝撃**を与えないでください

ハードディスクは精密機器ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。記録したデータを破損することがあります。

落下検出は**通常は「入」**にして使います

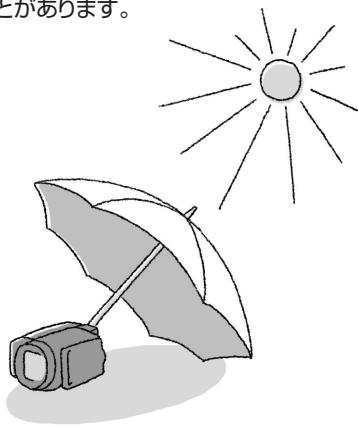
落下検出を「入」にすると落下時にハードディスク保護機能が働きますが、「切 OFF」にするとハードディスク保護機能は働きません。落下の状況によっては落下検出を「入」にしていても保護できないことがあります。

HDD動作ランプが**点灯中/点滅中**は電源を切らないでください

ハードディスクを損傷するおそれがあります。

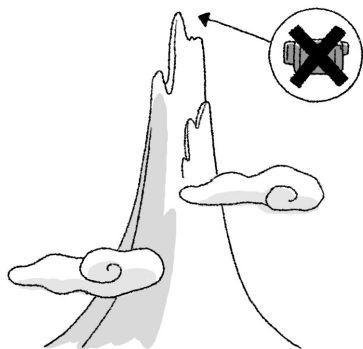
ハードディスク（HDD）は長時間記録ができて、とても便利ですが、
テープを使うビデオカメラと注意するポイントが違います。
ここに記載していることは、
ハードディスクビデオカメラを使う上でとても大切なことです。
必ず守ってください。
詳しくは133ページをご覧ください。

本機の**温度**にご注意ください

本機の温度が高すぎたり低すぎたりすると、ハードディスクのデータ保護のために録画/再生できなくなることがあります。

本機を譲渡/廃棄するとき、**個人情報の流出**にご注意ください

ハードディスク内のデータは、削除や初期化をしても完全には消えません。

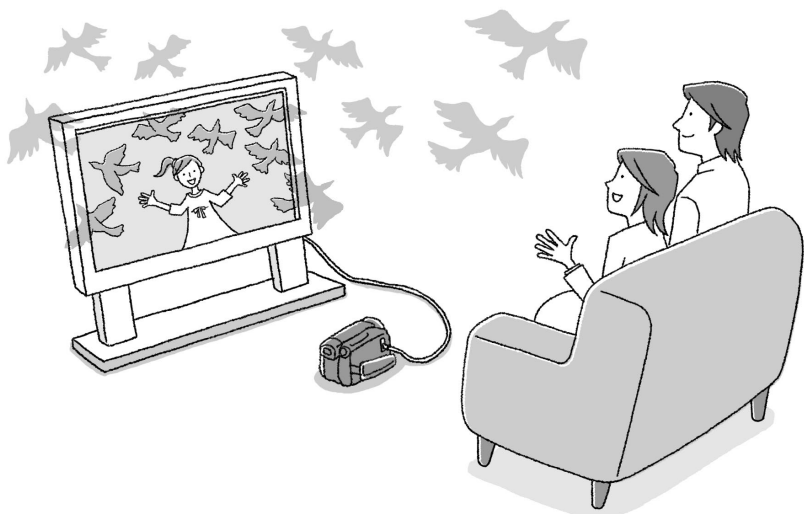
高地（海抜3000m以上）では使わないでください

気圧の低いところではハードディスクを損傷するおそれがあります。

映像が正しく記録/再生できないときは**初期化**してください

長時間、映像の撮影/消去を繰り返すと、ハードディスク内のファイルが断片化されて映像が正しく記録/再生できなくなることがあります。そのときはハードディスクを初期化します。

ハイビジョン（AVCHD）を楽しもう

本機は、AVCHD（Advanced Video Codec High Definition）規格でハイビジョンを記録します。AVCHD規格は、圧縮効率に優れた符号化技術を採用し、ハイビジョンテレビと同等の画質の映像で記録します。従来の画質に比べて、有効走査線数が1080本と約2倍以上、全体の画素数は約4倍以上に。臨場感のある映像を楽しめます。映像はMPEG-4 AVC/H.264方式で圧縮されて、音声はドルビーデジタル方式で記録されます。AVCHD規格では、ハードディスクドライブ、DVDディスク、フラッシュメモリーなど、さまざまなメディアにハイビジョン信号を記録できます。

1080本

Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD（High Definition）映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

CONTENTS
もくじ

Chapter 1
ビデオ

1 とにかく撮る(基本編)

2 とにかく見る(基本編)

Chapter 2
写真

1 とにかく撮る（基本編）

2 とにかく見る（基本編）

3 こだわって撮る（応用編）

4 編集する

5 印刷する

3 こだわって撮る（応用編）

4 編集する

Chapter 3
ダビングやパソコン転送

Chapter 4
ふろく

商標について

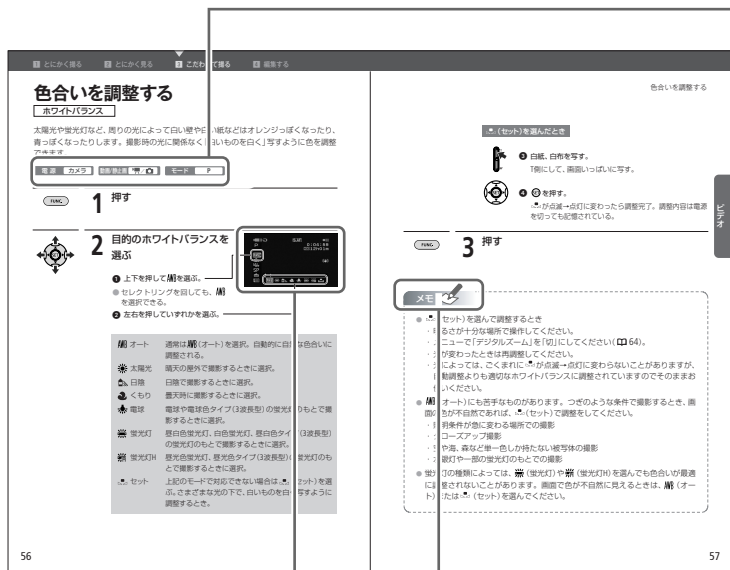
- miniSD™は、SDカードアソシエーションの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴは松下電器産業株式会社とソニー株式会社の商標です。
- CorelはCorel Corporationおよびその子会社の商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

MPEG-4使用許諾について

"This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard."

マークや記号、イラストはこう読む

この本の読みかた

画面に表示されるマーク

HD	ハードディスクに動画を撮影する。
▷	ハードディスクの動画を再生する。
📷	カードに静止画を記録する。
▷	カードの静止画を再生する。

＊画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

コラムのマーク

ご注意	守ってほしいこと。
メモ	知っておいてほしいこと。
ポイント	操作するときのポイントやお役立ち情報。

本文中の表記

10（📖 10）	参照ページを示す。
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す。
画面	「液晶画面」または「ファインダーの画面」のこと。
カード	miniSDカードのこと。
画像	「動画」または「静止画」のこと。両方を指す場合もある。

スイッチの位置を示すマーク

電源　カメラ

電源スイッチを切り換えるたびに、カメラモードランプまたは再生モードランプが点灯。この場合は「カメラ」にする。ほかに、「再生」がある。

動画/静止画

動画/静止画切り換えスイッチの位置。この場合は または の位置に合わせる。

モード　P

モードスイッチの位置。この場合はPに合わせる。ほかに、AUTOがある。

お使いいただくまえに知っておいてください

かならず「ためし撮り」しましょう

事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラ、ハードディスク、カードなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権に注意しましょう

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

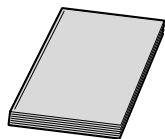
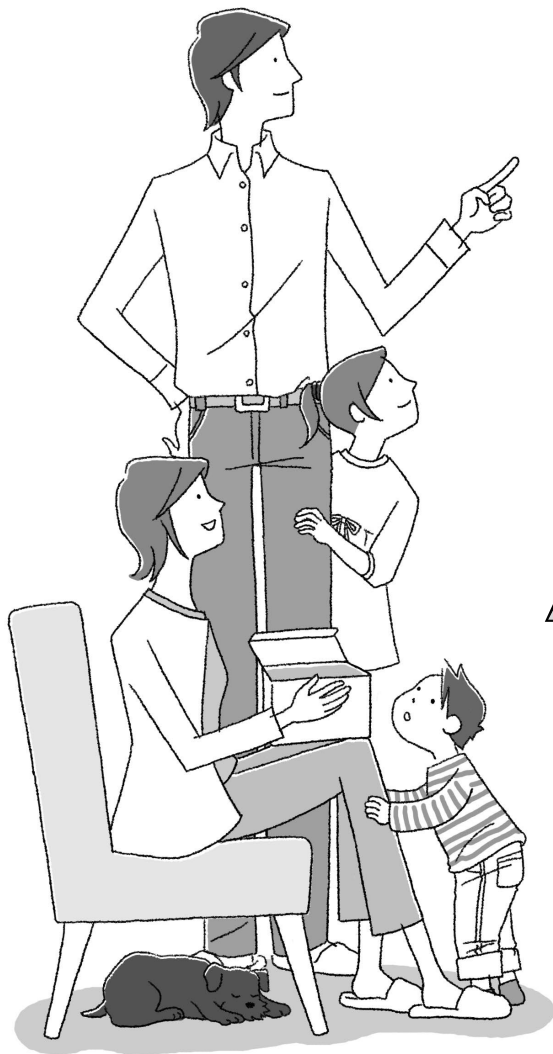
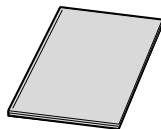
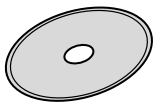
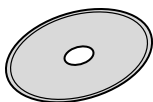
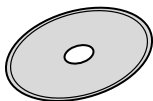
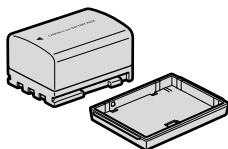
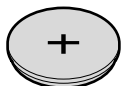
モザイク状のノイズについて

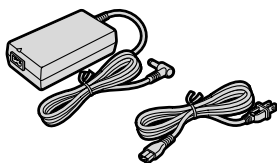
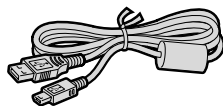
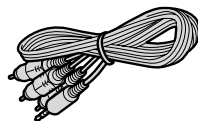
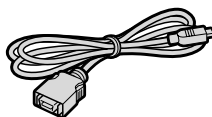
LPでの録画では、撮影シーンに影響され、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはHXPやXPをお使いください。

液晶画面やファインダーについて

液晶画面やファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

そろっていますか?

本体以外の付属品がそろっているかチェックしましょう。

Corel Application Disc

DIGITAL VIDEO
Solution Disk *[1]

バックアップ
ユーティリティDisc *[2]

バッテリーパック
BP-2L13とバッテリーケース

コイン型リチウム電池
CR2025（リモコン用）

リモコン（ワイヤレス
コントローラー）WL-D86

コンパクトパワーアダプター
CA-570と電源コード

USBケーブル
IFC-400PCU

ステレオビデオケーブル
STV-250N

D端子ケーブル
DTC-100/S

*[1] Digital Video Softwareの使用説明書がPDFデータとして入っています。

*[2] バックアップユーティリティの使用説明書がPDFデータとして入っています。

おぼえましょう！

各部のなまえ

本文中に出てくる名称です。■内の数字は参照ページです。

■ 左面

クイックスタートボタン 32

クイックスタートランプ 32

DISP.(ディスプレイ)ボタン 29 41

(イージーダイレクト)ボタン 101

スピーカー

USB端子 100

カード入れ

HDD

miniSD CARD

PUSH EJECT

CARD

カード動作ランプ 80

■ 正面

■ 右面

■ 後面

動画/静止画切り換えスイッチ 30
ファインダー 31
視度調整レバー 31
液晶画面 29
FUNC.(ファンクション)ボタン 71
再生モードランプ
カメラモードランプ
スタート/ストップボタン 30
HDD動作ランプ/充電ランプ
◀◀(早戻し)ボタン 38/Wボタン 34
▶▶(早送り)ボタン 38/Tボタン 34
▶/❚❚(再生/一時停止)ボタン 36/スタート/ストップボタン 30
■(停止)ボタン 36/プレイリストボタン 74/逆光補正ボタン 55
DC IN端子 24
シリアル番号(機番)
RESETボタン 121

セレクトリング

回すことでさまざまな項目を選びます。

▲/▼/◀/▶ボタン

さまざまな項目を選びます。

SETボタン

(SET)を押すと画面に右のような操作案内が表示されます。撮影状況によって表示が変わります。

フォーカス
次へ

電源スイッチ 28

❶ロックボタンを押しながら「入」にする

ロックボタン

❷時計方向に回す

回すたびに「カメラ」と「再生」が切り換わる。

つづく▶

各部のなまえ

■ 上面

モードスイッチ(P/AUTO) 32

グリップベルト 26

PHOTOボタン 80

ズームレバー 34

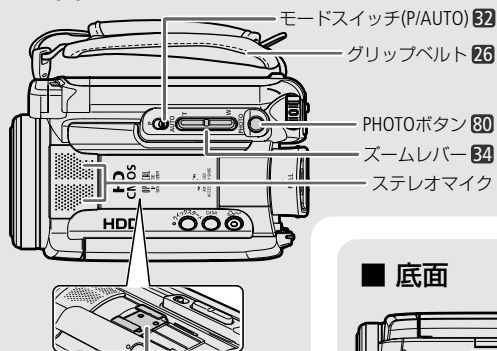
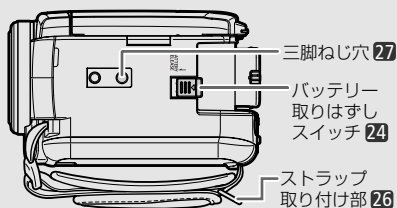
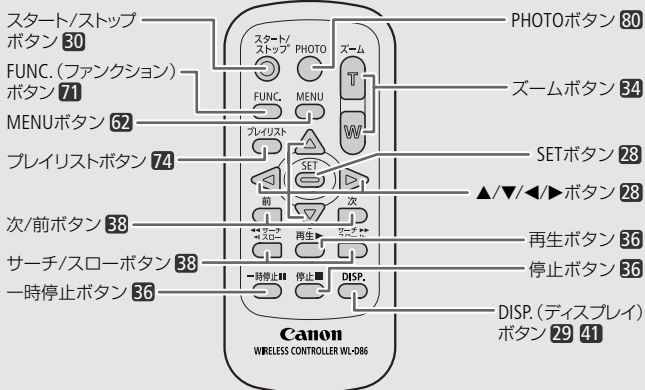
ステレオマイク

アドバンストアクセサリーシュー 52 61 89

■ 底面

三脚ねじ穴 27

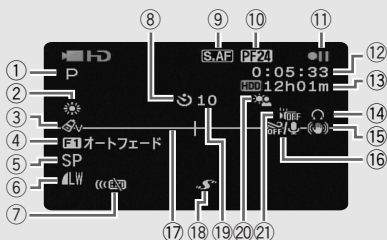
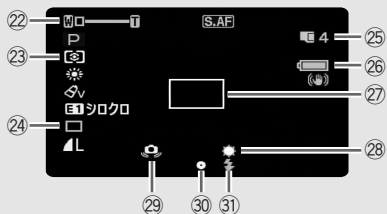
バッテリー取りはずしスイッチ 24

ストラップ取り付け部 26

■ リモコン

画面の見かた

撮影中や再生中に表示される情報です。■内の数字は参照ページです。

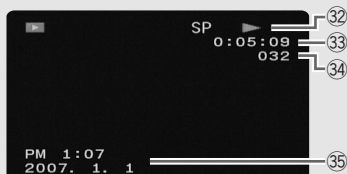
■撮影のときの画面

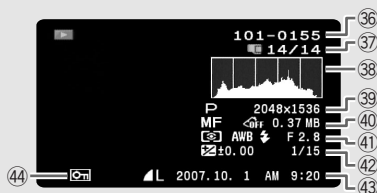
動画のとき

静止画のとき

① 撮影モード 48
② ホワイトバランス 56
③ 画質効果 58
④ デジタルエフェクト 59
⑤ 録画モード 35
⑥ 静止画画質/サイズ 82 95
⑦ リモコンセンサー 69
⑧ セルフタイマー 53
⑨ フォーカス 54 64
⑩ フレームレート 65
⑪ 撮影状況 18
⑫ 撮影時間(時：分：秒)
⑬ 撮影可能時間 18
⑭ ヘッドホン 37
⑮ 手ぶれ補正 64
⑯ ウィンドカット 65
⑰ マーカー 68
⑱ アドバンストアクセサリーシュー 52 61 89
⑲ お知らせタイマー 18
⑳ 逆光補正 55
㉑ 落下検出OFF 66
㉒ ズーム 34 、露出 55
㉓ 測光 93
㉔ ドライブモード 91
㉕ 静止画の記録可能枚数 18
㉖ バッテリー残量の目安 18
㉗ AF枠 65
㉘ ミニビデオライト 52
㉙ 手ぶれ警告 64
㉚ ピント・露出の自動調整 80
㉛ フラッシュ 89

つづく

画面の見かた

■再生のときの画面

動画のとき

静止画のとき

㉜ 再生状況
㉝ 再生時間(時：分：秒)
㉞ 再生シーン番号
㉟ データコード 41
㊱ 画像番号 69
㊲ 表示枚数/全枚数
㊳ ヒストグラム 94
㊴ 撮影モード 48 /サイズ 82
㊵ フォーカス 54 /画質効果 58 /データ量
㊶ 測光 93 /ホワイトバランス 56 /フラッシュ 89 /しぼり数値 50
㊷ 露出 55 /シャッタースピード 50
㊸ 静止画画質/サイズ 82 /日時 28
㊹ 画像プロテクト 99

⑪ 撮影状況/㉜ 再生状況

●：撮影(録画)　●❚❚：撮影一時停止　▶：再生　❚❚：再生一時停止　▶▶：早送り
◀◀：早戻し　◀❚/❚▶：スロー再生

⑬撮影可能時間

ハードディスクに空きがなくなると、「HDD END」が点灯し、停止します。

⑲お知らせタイマー

撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。一つの場面が短いと落ち着きのない画面になりますので、お知らせタイマーを目安にしながら撮影します。

㉕静止画の記録可能枚数

枚数の緑色表示は残り6枚以上、黄色表示は残り1～5枚、赤色表示は0枚を示します（ただし、再生時はすべて緑色表示）。記録可能枚数は記録時の状況により異なることがあります。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることがあります。なお、静止画の記録中は ▭ の左に▶が表示されます。

㉖バッテリー残量の目安

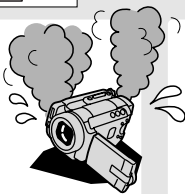
▭が赤く点灯したら、充電したバッテリーと交換してください。消耗したバッテリーを使用すると、電源が入らなかったり、▭が出ずに電源が切れたりすることがあります。なお、本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

これだけはお守りください

本機を正しく安全にお使いいただくため、ここに書いてあることをお守りください。

⚠警告	火災、感電、破裂などにより、死亡や重傷を負うおそれがあるもの
⚠注意	傷害を負うおそれや、物的損害を受けるおそれがあるもの

■ こんなときは ⚠警告

煙が出ている、へんな臭いがする、本機を落とした、外装をこわした、内部に水や異物が入った。

プラグをコンセントから抜く

⇨ 電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーもはずす。

火災、感電の原因。修理受付センターに問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼する。

禁止

バッテリーから液もれした。

⇨ 使用しない。

皮膚の障害、失明、発火の原因。液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。万一、目などに入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

接触禁止

雷が鳴り出した。

⇨ 電源プラグには触れない。

感電の原因。

■ お使いになるときは ⚠警告

禁止

強い衝撃や振動を与えない。

破損して火災、やけど、けがの原因。特に、液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

禁止

機器内部に金属類を入れない。端子部に金属類をショートさせない。

火災、感電、けがの原因。

つづく

これだけはお守りください

強制

指定された機器を使う。
火災、感電、けがの原因。

分解禁止

分解や改造をしない。
発熱、火災、感電、けがの原因。

水ぬれ禁止

ぬらさない。
火災、感電、やけどの原因。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、とくに注意する。

強制

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
火災、感電の原因。

禁止

電源コードを傷つけない。加工しない。無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。熱機具に近付けたり、加熱したりしない。必ずプラグを持って抜く。
芯線が露出したり、断線すると火災、感電の原因。

禁止

充電中は長時間触れない。
低温やけどの原因。

禁止

海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。
火災、感電、けがの原因。

禁止

運転中に使用しない。
交通事故の原因。

禁止

絶対に、バッテリー、コイン型リチウム電池などを、加熱や火中投入しない。
破裂により、やけど、けがの原因。

強制

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。
けが、交通事故の原因。

⚠ 注意

強制

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与えるおそれ。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因。

禁止

コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまない。

発熱により、やけどの原因。

強制

バッテリーやテレコンバーター、ワイドコンバーターなどを取りはずすときは、落ちないように手をそえる。

落ちると、けがの原因。

強制

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは確実に取りつける。

脱落すると、けがの原因。

強制

コード類は、つまづかないように配置する。

足を引っ掛けて、転倒したり製品が落ちたりして、けがの原因。

■ 使用・保管するとき　⚠警告

風呂場、シャワー室での使用禁止

風呂場などの湿度の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所で使用、保管しない。

内部に水などが入ると、火災、感電、やけどの原因。

強制

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。

火災の原因。

禁止

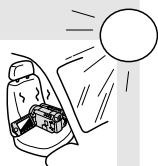
バッテリーの端子部に金属製のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。

「+」と「−」の端子がショートし高熱や液漏れによって、やけどやけがの原因。

禁止

直射日光下やストーブ、照明器具のそばなど、60℃以上の高温の場所や炎天下の密閉された車の中に置かない。

発熱や破裂により、火災、やけど、けがの原因。

禁止

不安定な場所に置かない。

落ちたり、倒れたりして、けがの原因。

つづく

これだけはお守りください

⚠注意

強制

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因。

禁止

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。
内部に熱がこもり、火災の原因。

■ お子様がそばにいるとき

⚠警告

強制

乳幼児の手の届かないところに置く。
感電、けがの原因。

強制

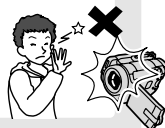
コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置く。
万一飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷するおそれがあるため、すぐに医師に相談する。

■ フラッシュやミニビデオライトを使うとき ⚠注意

禁止

車の運転者に向けてフラッシュやミニビデオライトを使用しない。
事故の原因。

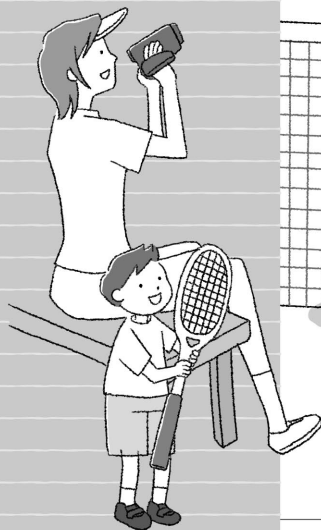
禁止

フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。
やけどの原因。

禁止

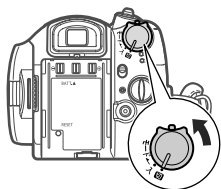
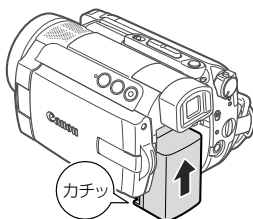
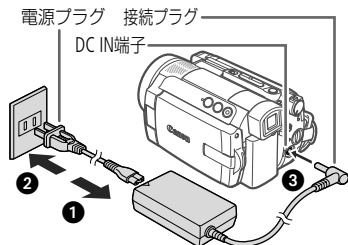
フラッシュを目に近づけて発光しない。
目を痛める原因。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

Chapter 1

ビデオ

Recording and Playing Back Movies

バッテリーを充電する

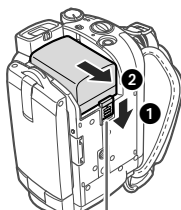
バッテリーを本体に取りつけ、家庭用コンセントから充電します。

1 電源を切る

2 バッテリーを取りつける

3 コンセントにつなぐ

4 充電ランプが点滅

5 点滅→点灯で充電おわり

- 接続プラグをDC IN端子から抜き、続いて電源プラグをコンセントから抜く。

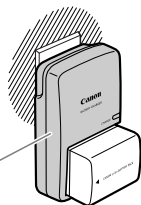
バッテリーを取りはずすときは

バッテリー取りはずしスイッチをレンズ側に押して取りはずす。

ご注意

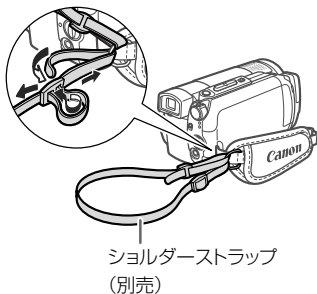
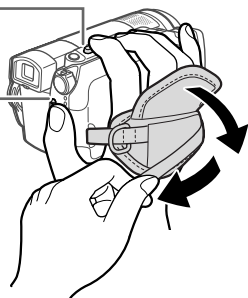
- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源スイッチを 切 にし、液晶画面の表示が完全に消えていることを確認してください。ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。
- コンパクトパワーアダプターを使用中に音がすることがありますが、故障ではありません。
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上の場所では充電できません。

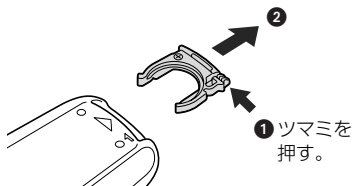
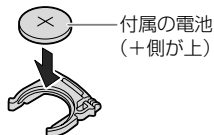
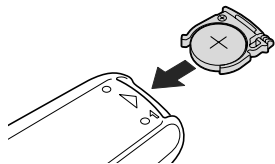
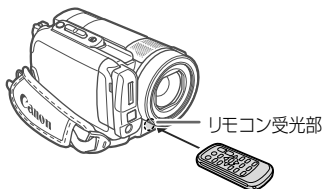
メモ

- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- 充電ランプの光りかたで充電状態が分かります。
  点灯 →充電完了
  1秒ごとに2回の速い点滅 →半分以上の充電
  1秒ごとに1回の点滅 →半分未満の充電
  このような光りかたに当てはまらないときは「故障かな？」（📖 120）をご覧ください。
- 付属のバッテリーBP-2L13と別売のNB-2LH/BP-2L14/BP-2L24Hをフル充電したときの使用時間は148ページをご覧ください。なお、低温下で使用すると、使用時間が短くなります。
- 付属のバッテリーの充電時間は約210分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャーCB-2LWを使うと約175分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。

バッテリーチャージャーCB-2LW

付属品を準備する

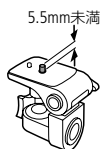
グリップベルトの調整や、リモコンの準備をしましょう。

■ グリップベルトや別売のストラップを調整する

■ リモコンを使う

1 電池入れを引き抜く

2 電池を入れる

3 電池入れを取りつける

使うときは受光部に向けてボタンを押す

- リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
- リモコンで操作できないときは、メニューで「リモコンセンサー」を「入」にしてください（ 69）。または電池を交換してください。

ポイント

三脚を使うときは？

- ファインダーを太陽に向けないでください。
- 必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。本体を破損することがあります。

時計を合わせる

撮影前に必ず日時を合わせてください。日常的に撮影する地域と海外旅行先の日時を設定できます。

1. 「カメラ」にする

初めて本機を使用するとき

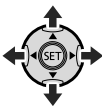
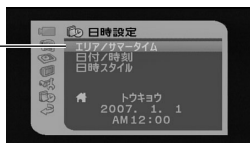
自動的に操作5の画面が表示されるので、操作5の❷に進む。

2. 押す

3. 日常的に撮影する地域を選ぶ

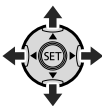
❶ （メニュー）→「日時設定」を選ぶ→ SET を押す。

❷「エリア/サマータイム」を選ぶ→ SET を押す。

● メニューの項目や設定内容はセレクトリングを回しても選択できる。

4. 左右を押して、日常的に撮影する地域を選ぶ→ SET を押す。

海外へ旅行するとき

❶ 上下を押して、✈ の項目を選ぶ。

❷ 左右を押して旅先を選ぶ→ SET を押す。

5. 日付、時刻を選ぶ

❶ 上下を押して「日付/時刻」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下を押して数字を選ぶ。

● ▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押すと年、月、日、時刻を選択できる。

❸ 左右を押して **OK** を選ぶ→ SET を押す。

6. 押す

● 初めて本機を使用するときは操作6は不要。

● 本機を約3ヶ月使わないと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して、日付/時刻の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（📖 138）。

● メニューの「日時スタイル」で、日付や時刻を表示する順序を変更できます（📖 70）。

液晶画面を調整する

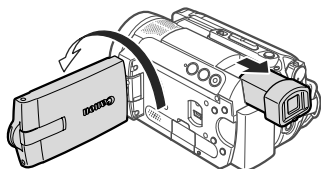
液晶画面の位置や明るさを調整します。

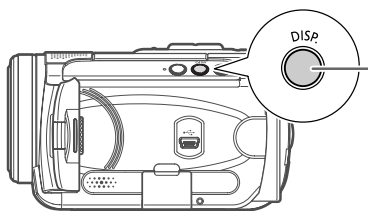
■ 位置を調節する

❶ 手前に90度引いて開ける。

❷ 回転させて見やすい位置にする。

液晶画面を相手に見せて撮る

液晶画面を相手に見せながら、ファインダーを使って撮影できます。レンズと同じ方向を向くように回転させます。

■ 画面の明るさを調節する

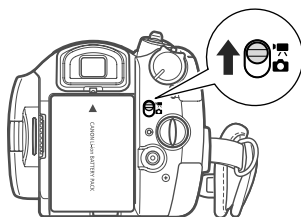
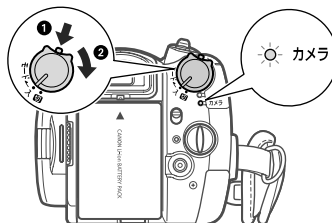
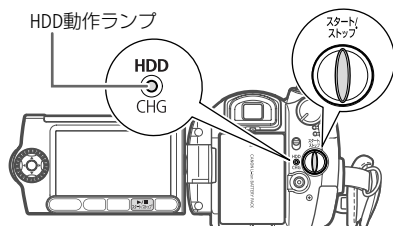
画面の明るさを2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。ファインダーの明るさも同時に切り換わります。

2秒以上押す。
2秒以上押すごとに明るさが切り換わる。

- 画面の明るさを調整しても、ハードディスクやカードに記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。

ビデオを撮る

基本的な動画の撮りかたです。

大切な映像を撮るときは、必ず試し撮りをし、正しく再生されることを確認してください（📖 36）。

1 🎥にする

2 「カメラ」にする

3 押す ▶ 撮影開始！

- ▶/II スタート/ストップ を押しても撮影を始められる。
- もう一度押すと、撮影一時停止となる。

撮影を終えるときは

1. HDD動作ランプが消えていることを確認
2. 電源スイッチを 切 にする
3. 液晶画面を垂直にしてから閉じる

ご注意

- ビデオカメラを安定させて撮影しましょう。すばやくズームしたり、揺らしたり、左右に振ったりして撮影した映像を再生すると、乗り物酔いのような症状が出ることがあります。その場合はすぐに再生を中止し、健康のため、適度な休憩を取ってください。

● HDD動作ランプが点滅しているときは、撮影した動画をハードディスクに書き込んでいます。このときは、つぎのことを必ず守ってください。動画のデータが破損するおそれがあります。

· 本機に振動や衝撃を与えない
· 電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを操作しない
· バッテリーやコンパクトパワーアダプターを取りはずさない

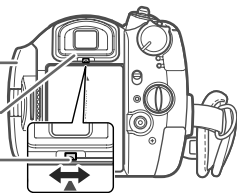
● バッテリーを使っているときは、約5分間何も操作しないと節電のため電源が切れます（📖 69）。このときは電源スイッチを時計方向に回すか、一度 切 にしてから電源を入れ直してください。

● 打上げ花火など大きな音の近くで撮影すると、音がひずんだり、小さく録音されることがありますが故障ではありません。

ポイント

周囲が明るくて画面が見づらいときは

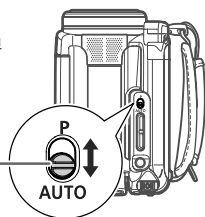
液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節する（📖 29）かファインダーを使います。液晶画面を閉じると、自動的にファインダーの方に映像が表示されます。なお、液晶画面を相手に見せて撮影しているときは、ファインダーと液晶画面を同時に使用できます。

1. 液晶画面を垂直にしてから閉じる
2. ファインダーを引き出す
3. ハッキリ見えるようにレバーを動かす

ファインダーの明るさを調節する

DISP.ボタンを2秒以上押すごとに、ファインダーの明るさが切り換わる。

ビデオを撮る

AUTOモードとPモード（モードスイッチ）

ここでの操作は「すべての調整をカメラまかせで簡単に撮影するAUTOモード」をもとに説明しています。撮影シーンに合わせて個別に調整したいときなどは、モードスイッチを「Pモード」に合わせます（📖 48）。

■ 撮影チャンスを逃さない（クイックスタート）　動画/静止画

クイックスタートボタンを押すと、省エネ状態*1でスタンバイします（スタンバイ）。撮りたいときに再びボタンを押せば、約1秒*2で撮影可能状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

*1 バッテリーの消耗は撮影時の約半分となります。

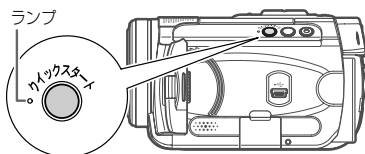
*2 撮影可能状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

スタンバイする

電源スイッチを「カメラ」にしているとき、クイックスタートボタンをしっかりと押す→ランプが点灯して スタンバイ状態になる。

- 準備中はランプが点滅する。

クイックスタートする

再度クイックスタートボタンを押す→ランプが消えて撮影できる状態になる。

スタンバイ中は電源を取りはずさないでください。

メモ

- スタンバイする前にピントや露出の調整/逆光補正をしていた場合、クイックスタートするとそれらは自動調整となり、逆光補正は解除されます。ズームはW側に戻ります。

- スタンバイしているときに10分経過すると電源が切れます。電源が切れるまでの時間はメニューの「スタンバイ」で選択できます（□ 69）。なお、「パワーセーブ」（□ 69）はスタンバイしているときは無効となります。
- 電源が切れた場合は、電源スイッチを時計方向に回すか、一度 切 にしてから電源を入れ直してください。
- スタンバイしているときに以下の操作を行うと、スタンバイが解除され、撮影可能状態になります。
  - ・動画/静止画切り換えスイッチを切り換える。
  - ・電源スイッチを時計方向に回す。

■ いま撮ったシーンを確認する　動画/静止画

直前に撮ったシーンを再生して、録画状態をチェックすることができます。この場合、音声は聞こえません。

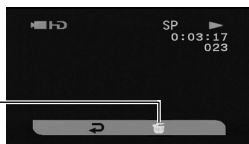
1. SET を押す
   - 操作案内が出る。 が表示されないときは、▲/▼/◀/▶ボタンの下を押す。

2. 左（）を押す

■ いま撮ったシーンを消す　動画/静止画

1. SET を押す
   - 操作案内が出る。

2. シーンを消す

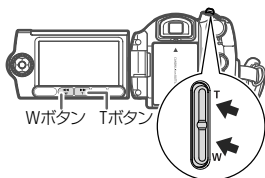
❶ 左（）を押す。
❷ 右を押して を選ぶ→ SET を押す。
❸ 右を押して「はい」を選ぶ→ SET を押す。

ビデオを撮る

- 消去中は一切の操作をしないでください。
- モードスイッチを動かしたり、電源を切ったりした場合は、直前のシーンは消せません。

■ 拡大して撮る（ズーム） 動画/静止画

ズームレバーをT側（望遠）に押すと10倍まで拡大して撮影できます（光学ズーム）。W側（広角）に押すと、元の大きさに戻ります。デジタルズームを使うと、さらに200倍まで拡大することができます*（📖 64）。

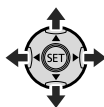
* デジタルズームは静止画撮影時には使えません。

W側（広角）　T側（望遠）

- ズーム撮影をするときは被写体から1m以上離れてください。
- ズームレバーをW側に押して最も広角にすると約1cmまで近づいて撮影できます。
- ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします（可変速）。メニューでズームスピードを一定にすることもできます（📖 63）。スピードは1（遅い）～3（速い）から選びます。
- ズームスピードを「可変速」に設定した場合、リモコンや液晶画面のズームボタンでズーム操作するとズームスピード3（速い）になります。
- 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります（ただし、ズームスピードを「可変速」に設定したときのみ）。

■ 画質を選ぶ（録画モード） 動画/静止画

録画モードにはHXP、XP、SP、LPの4種類があります。高画質で撮影したいときはHXPまたはXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

FUNC.

1. 押す

2. 録画モードを選ぶ

❶ 上下を押して **SP** を選ぶ。

❷ 左右を押していずれかを選ぶ。

FUNC.

3. 押す

- 選択した画質（録画モード）によって、録画時間が異なります。

HXP	XP	SP	LP
約5時間30分	約9時間30分	約11時間30分	約15時間

* 動画の連続撮影が可能な時間は約13時間です。

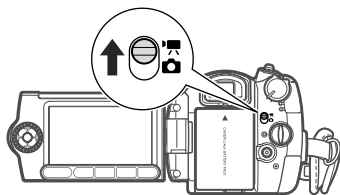
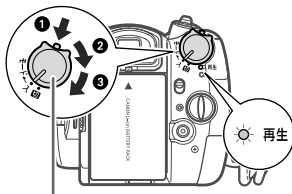
- LPを選択すると、撮影シーンの影響を受けやすくなり、このため再生時にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりすることがあります。大切な撮影にはHXPやXPをお使いください。
- 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため、録画時間は撮影するシーンによって変化します。

ビデオ

見る

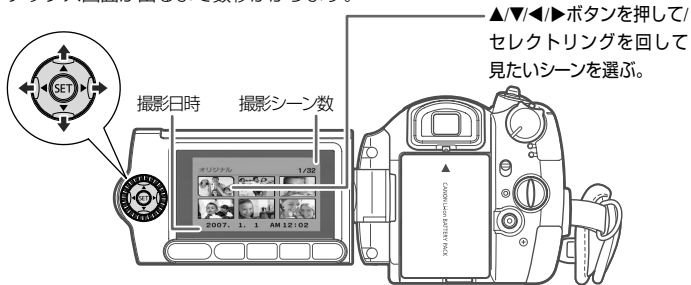
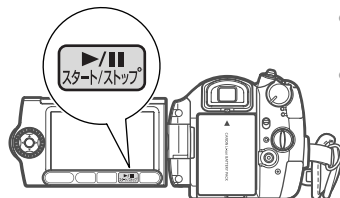
ビデオを見る

撮った動画を液晶画面で見ます。

1 にする

2 「再生」にする

時計方向に回すたびに「カメラ」と「再生」が切り換わる。

3 見たいシーンを選ぶ

インデックス画面が出るまで数秒かかります。

▲/▼/◀/▶ボタンを押して/セレクトリングを回して見たいシーンを選ぶ。

4 押す ▶ 再生開始！

- もう一度押すと、再生一時停止となる。
- 選んだシーンの再生が終わると、つぎのシーンが再生される。
- 再生を終えるときは ■/プレイリスト 逆光補正 を押す。

■ 音の大きさを変える

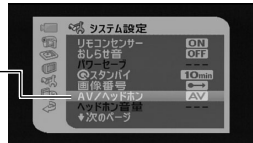
撮影のときはヘッドホン、再生のときはスピーカー、ヘッドホンで音声を聞くことができます。

ヘッドホンを使う

🎧（ヘッドホン）端子は、AV（映像/音声）端子と共通です。ヘッドホンを使うときは、メニューで切り換えます（📖68）。

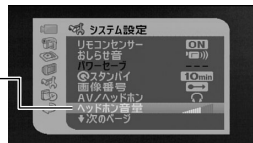
❶ （メニュー）→「システム設定」→「AV/ヘッドホン」を選ぶ→ SET を押す。

❷ ▲/▼/◀/▶ボタンの上下を押して「ヘッドホン」を選ぶ。

- ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

スピーカー、ヘッドホンの音量を調整する

●撮影 （ヘッドホン）

❶ （メニュー）→「システム設定」→「ヘッドホン音量」を選ぶ→ SET を押す。

❷ ▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押して、音量を調整する。

●再生 （スピーカー/ヘッドホン）

❶ SET を押す。

❷ 操作案内が出たら、▲/▼/◀/▶ボタンの上下を押して、音量を調整する。

ご注意

画面に🎧が出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。出ていないときに、ヘッドホンを接続すると、雑音が出ます。

つづく

ビデオを見る

メモ

- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
- 再生時、電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えると、「AV/ヘッドホン」は「AV」に戻ります。

ポイント

早送り、早戻し、さまざまな再生

以下の操作中は音声が聞こえません。［▶/II スタート/ストップ］を押すとふつうの再生に戻ります。
「/」の右のボタンはリモコンを使用した場合の操作です。
早送り/早戻し、スロー再生/スロー逆再生は、セレクトリングでも操作できます。

早送り*	再生中に［▶▶ T］/［サーチ ▶▶ スロー I▶］	ボタンを押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。**
早戻し*	再生中に［◀◀ W］/［◀◀ サーチ ◀I スロー］	
スロー再生*	一時停止中に［▶▶ T］/［サーチ ▶▶ スロー I▶］	ボタンを押すたびに再生速度が約1/8倍→約1/4倍に切り換わる。
スロー逆再生*	一時停止中に［◀◀ W］/［◀◀ サーチ ◀I スロー］	
スキップ再生	再生中に（SET）➡ /［次］	次のシーンの先頭から再生
	再生中に⬅（SET） /［前］	現在のシーンの先頭から再生
	再生中に2回押す⬅⬅（SET） /［前］	前のシーンの先頭から再生

* 操作中、画面が乱れることがあります。
** 画面に出る倍速表示は目安です。

■ 見たいシーンを選ぶ

シーンごとに選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押す

● 枠がシーンごとに移動する。

インデックス画面ごとに選ぶ

セレクトリングを回す

● インデックス画面全体に枠が出る。

撮影した日付から選ぶ

撮影した日付から見たいシーンを選べます。

1. 押す

2. を選び、SETを押す

● 撮影順で並べられた日付の一覧が表示される。

● 撮影した日のシーン数が表示される。

3. 左右を押して日、月、年を選び、上下を押して数字を選ぶ

● セレクトリングを回しても選べる

つづく

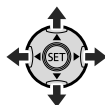
ビデオ

ビデオを見る

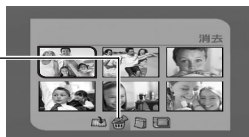
4. (SET)を押す

- 選んだ日付に撮影したシーンを含むインデックス画面が出る。
- 選んだ日付のシーンが複数ある場合は、先頭のシーンを含むインデックス画面が出る。

■ シーンを消す　動画/静止画

不要なシーンを消すことができます。1シーンだけを消す方法のほかに、その日に撮影したシーンをまとめて消す方法もあります。撮影直後にシーンを消す方法については33ページをご覧ください。
シーンを消すことで、本機のハードディスクの空き容量を増やすことができます。

1. 消すシーン、または消す日のシーンを選ぶ

2. 押す

3. シーンを消す

❶ (消去)を選ぶ→ (SET)を押す。

❷「1シーン」または「この日の全シーン」を選ぶ→ (SET)を押す。

❸「はい」を選ぶ→ (SET)を押す。

ご注意

- **一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- **大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください。**
- **パソコンから本機のハードディスク内のファイルを削除しないでください。**

メモ

- 消したシーンがプレイリストに追加されている場合は、プレイリスト上のシーンも削除されます。
- 5秒未満のシーンは消せないことがあります。消す場合はハードディスクの初期化が必要です（📖76）。ただし、初期化を行うとすべてのシーンが消え、元に戻りません。また、ハードディスクに記録されているすべてのシーンを消して記憶容量を元に戻す場合は、初期化します。
- シーン消去中、HDD動作ランプが点灯しているときは、電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えないでください。

■ 画面の表示を切り換える（データコード）

撮影情報の表示のしかたを切り換えられます。画面に表示される日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり数値）を「データコード」といいます。データコードの表示のしかたは切り換えられます（📖67）。

電源 カメラ/再生　動画/静止画 🎥/📷

1. 押す

- 押すたびに表示が切り換わる。

動画撮影中	画面表示あり→画面表示なし*1
動画再生中	画面表示あり→データコードのみ→画面表示なし
静止画撮影中	画面表示あり→画面表示なし*2
静止画再生中	画面表示あり→記録枚数、日時、画質などの表示→画面表示なし

*1 メニューで設定した「マーカー」や●または●❚❚は表示されます。

*2 メニューで設定した「マーカー」は表示されます。

ビデオ

ビデオを見る

■ テレビで見る 動画/静止画

本機をテレビにつないで動画を再生します。接続するテレビの種類や端子によって、再生する画質が異なります。

1. 設定を変える

- コンポーネント端子を使う場合は、テレビに合わせて、メニューで「コンポーネント出力」を切り換える（□ 70）。
- 動画再生時、ワイド（16:9）モードのない4:3テレビに接続する場合は、メニューで「テレビタイプ」を「4:3」にする（□ 69）。

2. 本機の電源とテレビの電源を切る

3. 本機をテレビに接続する

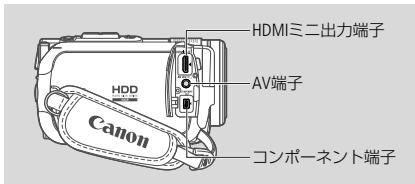
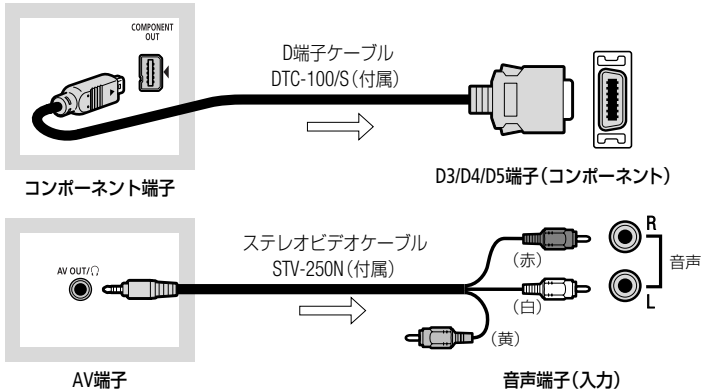
参考 ▶▶ 43, 44ページ

4. 本機の電源とテレビの電源を入れる

- テレビ：接続した端子を選ぶ。
- ビデオ機器：入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。

5. 動画を再生する（□ 36）

静止画を見ることもできる（□ 84）。

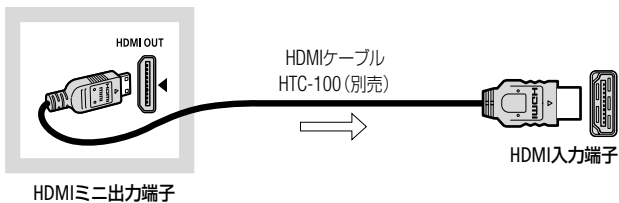
ハイビジョン（HD）のテレビにつなぐ

ケース1

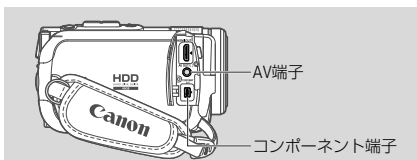
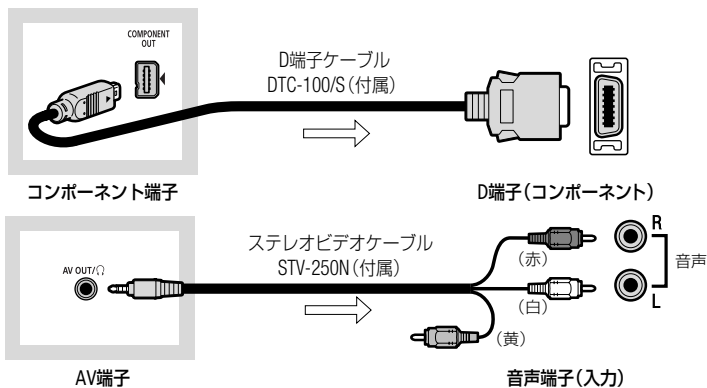
本機とケーブルの▶と◀が向かい合う方向に、ケーブルを差し込んでください。

＊D端子ケーブルでつなぐ場合は、音声を出力するためにステレオビデオケーブルも一緒につないでください。AV/🎧端子を使用するときは、メニューの「システム設定」で「AV/ヘッドホン」を「AV」に設定します（📖 68）。

ケース2

本機とケーブルの▶と◀が向かい合う方向に、ケーブルを差し込んでください。

つづく▶

ビデオを見る

標準画質（SD）のテレビにつなぐ

ケース1

本機とケーブルの▶と◀が向かい合う方向に、ケーブルを差し込んでください。

＊D端子ケーブルでつなぐ場合は、音声を出力するためにステレオビデオケーブルも一緒につないでください。AV/🎧端子を使用するときは、メニューの「システム設定」で「AV/ヘッドホン」を「AV」に設定します（📖 68）。

ケース2

＊AV/🎧端子を使用するときは、メニューの「システム設定」で「AV/ヘッドホン」を「AV」に設定します（📖 68）。

- 本機にステレオビデオケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- 本機をビデオID-1方式対応のテレビに接続して再生すると、テレビは自動的にワイド画面（16:9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側でワイド画面に切り換えてください。
- 接続するテレビがノーマルテレビ（4:3）の場合は、メニューで「テレビタイプ」を設定してください（□ 69）。
- 接続するテレビの説明書もあわせてご覧ください。
- 本機で記録した映像は、ハイビジョン対応テレビでも標準画質のテレビにつないでも再生できます。標準画質のテレビにステレオビデオケーブルでつないだ場合は、メニューで「コンポーネント出力」を切り換えなくても、自動的に標準画質に変換して再生します。
- D3/D4/D5端子付きまたはHDMI入力端子付きのテレビに接続してご覧になると、ハイビジョンの高画質を十分にお楽しみいただけます。

HDMI規格とは？

映像と音声をデジタルのまま他の機器へ送ることができる規格です。HDMI端子付きのテレビで、ハイビジョンの高精細な映像をお楽しみいただけます。また、HDMIミニ出力端子では、接続するテレビに合わせて、自動で最適な解像度にして映像を出力します（□ 70）。

HDMIミニ出力端子に接続するときに気をつけること

- 本機のHDMIミニ出力端子は出力専用のため、他の出力端子をつながないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては撮影した動画を再生できない場合があります。その場合は、付属のD端子ケーブルとステレオビデオケーブルで接続してください。
- 別売のHDMIケーブルHTC-100で他の機器と接続しているとき、AV端子またはコンポーネント端子からは映像は出力されません。AV端子からは音声のみ出力されます。

つづく

ビデオを見る

■ シーンを保存する 動画/静止画

本機で撮影したシーンは、内蔵ハードディスクに記録されます。内蔵ハードディスクの容量には限りがあるため、また、万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずDVDなどのディスクやパソコンに保存してください。
本機で撮影したシーンは、以下の方法で保存/バックアップできます。

パソコンを使って、シーン（映像）を保存する

付属のCorelソフトウェアを使うと、本機で撮影した映像を、シーンを選んでパソコンに保存できます。詳しくはCorelソフトウェアガイドをご覧ください。
また、付属のバックアップユーティリティを使うと、本機の映像データをすべてパソコンにバックアップできます。詳しくはバックアップユーティリティの使用説明書（PDF）をご覧ください。

DVDライターを使って、シーン（映像）をディスクに保存する/再生する

別売のDVDライターDW-100を使うと、本機で撮影した映像から、すべてのシーン、未作成のシーン、プレイリストのシーンを選んで、ハイビジョンのディスクを作成できます。また、本機にDVDライターとテレビをつないで、DVDライターで作成したハイビジョンのディスクを再生できます。詳しくはDVDライターに付属の説明書（DW-100説明書、HG10用説明書）をご覧ください。

本機を他の機器につないでシーン（映像）を保存する

パソコンがない場合は、ビデオ、DVD/HDD機器にダビングして保存します。詳しくは112ページをご覧ください。

パソコンから本機にシーン（映像）を書き戻す

付属のCorelソフトウェアを使うと、本機で撮影してパソコンに保存した映像を、シーンを選んで本機に書き戻すことができます。詳しくはCorelソフトウェアガイドをご覧ください。書き戻すときは必ず付属のバックアップユーティリティを使って本機の全データのバックアップを取ってから行ってください。また、バックアップユーティリティを使うと、本機で撮影してパソコンにバックアップしたすべての映像データを、本機にすべて書き戻すことができます。詳しくはバックアップユーティリティの使用説明書（PDF）をご覧ください。

映画のように撮る

シネマエフェクト

シネマエフェクトを使用すると映画のような雰囲気のある映像を撮影できます。

電源 カメラ　動画/静止画 [動画]　モード P

FUNC.

1 押す

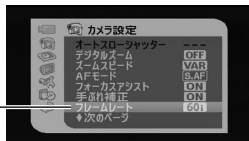
2 シネマモードを選ぶ

❶ 上下を押して P を選ぶ。
❷ 左右を押して [シネマモード] を選ぶ
→ (SET) を押す。

3 フレームレートをPF24にする

❶ [メニュー]（メニュー）→「カメラ設定」→「フレームレート」を選ぶ
→ (SET) を押す。
❷ 上下を押して PF24 を選ぶ
→ (SET) を押す。

FUNC.

4 押す

撮影中はモードスイッチをAUTOに切り換えないでください。映像の明るさが一時的に大きく変化することがあります。

場面に合わせて撮る

スペシャルシーンモード（SCN）

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

電源 カメラ　動画/静止画 ／　モード P

FUNC.

1 押す

2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下を押して P を選ぶ。

❷ 左右を押して を選ぶ
→ SET を押す。

❸ 左右を押していずれかを選ぶ。

参考 ▶▶ 「ポイント」

FUNC.

3 押す

ポイント

「場面に合わせて撮るとき」はどんな項目が選べるの？

ポートレート

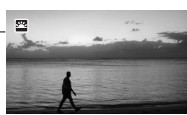
背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

スポーツ

動きの速い被写体を撮る。

夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。

ナイト

暗い場所で被写体を明るく撮る。

スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。

スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。

メモ

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した画像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームをT側にすると、背景がより効果的にぼけます。
- ナイト
  - ・動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
  - ・明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
  - ・画面に白い点などが出ることがあります。
  - ・自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください。
- スノー/ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。
- 打上げ花火
  - ・手ぶれを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
  - ・静止画撮影中は、シャッタースピードが遅くなるため、必ず三脚をお使いください。
- 撮影中はモードスイッチをAUTOに切り換えないでください。映像の明るさが一時的に大きく変化することがあります。

動きの速いものを撮る/背景をぼかして撮る

シャッタースピード　　しぼり

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れのような流動感を表現できます。しぼり数値が小さい（開く）と背景をぼかしたポートレート、大きい（閉じる）と風景を全体的にはっきりと、撮影できます。

電源 カメラ　動画/静止画　モード P

1 押す

2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下を押して P を選ぶ。

❷ 左右を押していずれかを選ぶ。

P（プログラムAE）：シャッタースピードとしぼりが自動で設定される。

Tv（シャッター優先AE）：シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動で設定される。

Av（絞り優先AE）：しぼりを自分で選ぶ。シャッタースピードは自動で設定される。

3 押す

TvまたはAvを選んだとき

❶ 操作案内が出ているときは、SET を押して消す。

❷ ▲/▼/◀/▶ボタンの上下を押して数値を選ぶ。

- AEはAuto Exposure(オート エクスポージャー)(自動露出)、TvはTime value(タイム バリュー)(時間量)、AvはAperture value(アパーチャー バリュー)(開口量)の略です。
- 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。数値が点滅しなくなるまで、シャッタースピードやしぼりを調整してください。
- 撮影中はモードスイッチをAUTOに切り換えないでください。映像の明るさが一時的に大きく変化することがあります。
- **Tv** のとき
  - ・暗いところでスローシャッターを使うと明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
  - ・高速シャッターでは、画像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
  - ・蛍光灯下で動画を撮影するとき、画面のちらつきがとれない場合は、**Tv** を選んでから1/100秒を選んでください。
- **Av** のときに設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。
- しぼり数値は次のとおりです。
  動画撮影時：1.8、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0
  静止画記録時：2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0

ポイント

シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「Tv30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

(動画のとき)	(静止画のとき)	こんなときに使います
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	―	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

メニューで「フレームレート」を「PF24」(65)に設定しているときのシャッタースピードは1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒です。

ビデオ

ミニビデオライトを使う

暗いところで撮影する場合、ミニビデオライトを使って被写体を明るく撮影できます。

電源 カメラ　動画/静止画　モード AUTO/P

1 SET を押す

- 操作案内が出る。☼が表示されないときは、▲/▼/◀/▶ボタンの下を押す。

2 右(☼)を押す

- もう一度右を押すと、消灯する。

点灯中は☼が出る。

メモ

別売のワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたときは、影が映るため、ミニビデオライトは使わないことをおすすめします。

■ 別売のビデオライトVL-3を使う

本機では、内蔵ミニビデオライトよりも強い光を発光するビデオライトを使用できます。取り付けかたや使いかたについては、ビデオライトの説明書もあわせてご覧ください。ビデオライトを取り付けると、画面に が出ます。

メモ

別売のビデオライトを使用すると、本機のミニビデオライトは自動的に使用できなくなります。本機のミニビデオライトを使用する場合は、別売のビデオライトのスイッチをOFFにしてから、本機のミニビデオライトを点灯してください。

セルフタイマーを使う

自分を入れて撮影するときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

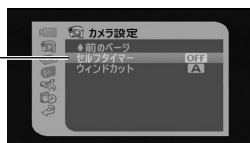
電源 カメラ　動画/静止画 ／　モード AUTO／P

1 押す

● 動画を撮影しているときは、撮影一時停止中に操作する。

2 セルフタイマーを選ぶ

❶ （メニュー）→「カメラ設定」→「セルフタイマー」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「入」を選ぶ→ SET を押す。

解除するとき

❷で「切」にする。

● メニューの項目や設定内容はセレクトリングを回しても選択できます。

3 押す

● 画面にが出る。

4 動画の場合 押す

● 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

● 浅く押し続けるとピントが合う。
● 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

撮影開始までの時間が出ているときは、スタート/ストップボタン（動画のとき）やPHOTOボタン（静止画のとき）を押すか、電源を切ると、セルフタイマーは解除されます。

ビデオ

ピントを合わせる

自動でピントが合いにくい場合は、ピントの調整をします（マニュアルフォーカス）。なお、ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。

電源 カメラ　動画/静止画 🎥/📷　モード P

1 SET を押す

● 操作案内が出る。

2 フォーカスを選ぶ

❶ 下を押して「フォーカス」の画面を選ぶ。
❷ 上（フォーカス）を押す。

「MF」が出る。

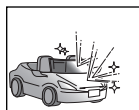
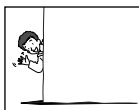
3 ピントを合わせる

❶ 左右を押して大まかにピントを合わせる。
● メニューで「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、画面の中央が拡大される（📖 64）。
❷回してピントを調整する。
● ▲/▼/◀/▶ボタンの上を押すと、自動のピント合わせに戻る。
❸ SET を押す。
● ピントが固定され、操作案内が消える。
● もう一度 SET を押してから▲/▼/◀/▶ボタンの上（フォーカス）を押すと、自動のピント合わせに戻る。

ポイント

花火や山など、遠くにピントを合わせたいときは

操作2の❶の後に、▲/▼/◀/▶ボタンの上を2秒以上押し続けてください。画面に∞が表示されます。もう一度、上を押すとピント合わせは自動に戻ります。また、セレクトリングを回したり、▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押したり、ズームレバーを押したりすると、手動でのピント合わせに戻ります。

自動でピントが合いにくいときはどんなとき?

強い光が反射

明暗の差がない

動きが速い

水滴が付いているガラス越しの撮影

夜景

明るさを調整する

露出

逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。
撮影モードをFUNC.メニューで「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

電源 カメラ　動画/静止画 　モード P

1 SETを押す

● 操作案内が出る。

2 露出を選ぶ

❶ 下を押して「露出」の画面を選ぶ。

❷ 上（露出）を押す。

● 明るさによって長さが変わり、調整範囲も変わる。「±0」が出る。

● ズームを動かすと、明るさが変わることがある。

3 露出を調整する

❶ 回す。

● ▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押しても調整できる。

❷ SETを押す。

● 画面の明るさが固定され、操作案内が消える。

● もう一度SETを押してから▲/▼/◀/▶ボタンの上（露出）を押すと、自動での露出調整に戻る。

逆光下で撮るときは

窓際や水辺の人物を撮るときなど、逆光下での撮影では、一般的に、被写体が暗くなります。このようなとき、逆光補正を押すだけで（逆光補正マークが画面に出る）明るさを補正して、被写体を明るく撮影できます。もう一度逆光補正を押すと、逆光補正は解除されます。

色合いを調整する

ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など、周りの光によって白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色を調整できます。

電源 カメラ　動画/静止画 動画/静止画　モード P

1 押す

2 目的のホワイトバランスを選ぶ

❶ 上下を押してAWBを選ぶ。

● セレクトリングを回しても、AWBを選択できる。

❷ 左右を押していずれかを選ぶ。

AWB オート	通常はAWB（オート）を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
日陰	日陰で撮影するときに選択。
くもり	曇天時に撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
セット	上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

(セット)を選んだとき

❸ 白紙、白布を写す。

T側にして、画面いっぱいに写す。

❹ SET を押す。

が点滅→点灯に変わったら調整完了。調整内容は電源を切っても記憶されている。

3 押す

メモ

- (セット)を選んで調整するとき
  - ・明るさが十分な場所で操作してください。
  - ・メニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください(📖 64)。
  - ・光が変わったときは再調整してください。
  - ・光によっては、ごくまれに が点滅→点灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。
- AWB(オート)にも苦手なものがあります。つぎのような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば、(セット)で調整をしてください。
  - ・照明条件が急に変わる場所での撮影
  - ・クローズアップ撮影
  - ・空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影
  - ・水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影
- 蛍光灯の種類によっては、(蛍光灯)や(蛍光灯H)を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB(オート)または(セット)を選んでください。

好みの画質にする

画質効果

肌をなめらかに表現してきれいに撮影することができます。ほかにも、輪郭の強調を抑えてソフトに撮影したり、コントラストに強弱を付けて撮影することもできます。

電源 カメラ　動画/静止画 　モード P

1 押す

2 目的の画質効果を選ぶ

❶ 上下を押して OFF を選ぶ。

● セレクトリングを回しても、OFF を選択できる。

❷ 左右を押していずれかを選ぶ。

OFF	画質効果切	画質効果を使わないとき。
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑える。
LS	ソフト	輪郭の強調を抑える。
SD	美肌	肌をなめらかに表現して、きれいに見せる。
C	カスタム	色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを自由に設定。 色の濃さ：（－）薄い、（＋）濃い シャープネス（輪郭強調）：（－）弱い、（＋）強い コントラスト（明暗差）：（－）弱い、（＋）強い 明るさ：（－）暗い、（＋）明るい

C（カスタム）を選んだとき

❸ SET を押す→上下を押してカスタム機能の内容を選ぶ。

❹ 左右を押してカスタム機能を調整する→ SET を押す。

3 押す

場面の切り換えと特殊効果

デジタルエフェクト

映像の始まりと終わりを演出するフェーダーや、色を変えるエフェクトを使って、思い出の画像にひと工夫加えてみましょう。静止画のときは「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。

電源 カメラ　動画/静止画 動画/静止画　モード P

フェーダー

映画のようにシーンの始まりと終わりを演出します。

F1 オートフェード

F2 ワイプ

エフェクト

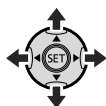
シロクロやセピアにして雰囲気を出したり、絵画のようなイメージにすることができます。

E1 シロクロ

E2 セピア

E3 アート

FUNC.

1 押す

2 目的のデジタルエフェクトを選ぶ

❶ 上下を押して D.エフェクト切 を選ぶ。

● セレクトリングを回しても、D.エフェクト切 を選択できる。

❷ 左右を押していずれかを選ぶ。

3 押す

ビデオ

つづく

場面の切り換えと特殊効果

4 デジタルエフェクトを有効にする

❶ (SET) を押す。操作案内が出る。[アイコン]が表示されないときは下を押す。

❷ 上([アイコン])を押す。

緑色に変わる。

デジタルエフェクトを無効にするとき

上([アイコン])をもう一度押す。

5 動画撮影時 押す

● 撮影一時停止中(●II)にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影中(●)に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影一時停止になる。

静止画記録時 押す

● 静止画が「シロクロ」または「セピア」で記録される。

一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても記憶されています。

外部マイクを使う

本機のアドバンストアクセサリーシューに、別売の指向性ステレオマイクロホンDM-50や市販のアクセサリーシュー対応のマイクを取り付けられます。指向性ステレオマイクロホンDM-50を取り付けると、画面に が出ます。

電 源 カメラ 動画/静止画 モード AUTO/P

マイクの取り付けかた

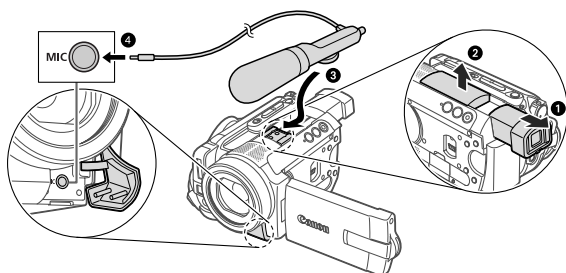
❶ ファインダーを引き出す。

❷ アドバンストアクセサリーシューのカバーをはずす。

❸ マイクをアクセサリーシューに取り付ける。

❹ 市販のマイクの場合は、MIC端子に接続する*。

* 指向性マイクロホンDM-50を接続する場合は、❹の操作は不要。

メモ

- 静かな場所で撮影するときに、内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合には外部マイクをお使いになることをおすすめします。
- 市販のマイクを使うときは、電源内蔵タイプのコンデンサーマイクをお使いください。端子がφ3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどのマイクが使用できますが、マイクにより音量が内蔵マイクと異なります。
- 長いマイクを使うと、マイクが画面に映ることがあります。
- 指向性ステレオマイクロホンDM-50や市販のマイクを取り付けてMIC端子に接続すると、「ウィンドカット」は自動的に「切」になります。

買ったときの設定を変える

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。

例 「おしらせ音」を「切」に設定する

1 押す

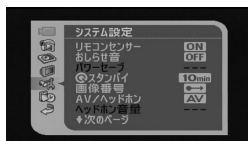
2 上下を押して（メニュー）を選び、SET を押す

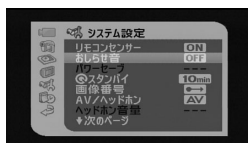
● セレクトリングを回しても、メニューを選択できる。

3 上下を押して項目を選び、SET を押す

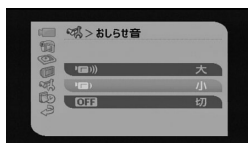
● セレクトリングを回しても、項目を選択できる。

前の画面に戻るとき

▲/▼/◀/▶ボタンの左を押す

4 上下を押して機能を選び、SET を押す

● セレクトリングを回しても、機能を選択できる。

5 上下を押して設定内容を選び、SET を押す

● セレクトリングを回しても、設定内容を選択できる。

6 押す

● 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、黒色で表示されます。

● FUNC.ボタンを1秒以上押したり、リモコンのMENUボタンを押してもメニューを表示できます。

● FUNC.ボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

メニューの紹介

設定できる機能は、電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

カメラ設定

機能	設定内容	カメラ		📖
		動画	静止画	
オートスローシャッター	ON **入**、OFF 切	●	●	－
デジタルズーム	OFF **切**、40x 40×、200x 200×	●		－
ズームスピード	VAR **可変速**、>>> スピード3 >> スピード2、> スピード1	●	●	34
AFモード	S.AF **ハイスピードAF**、AF ノーマルAF	●	●	－
フォーカスアシスト	ON **入**、OFF 切	●	●	－
手ぶれ補正	ON **入**（手ぶれ補正マーク）、OFF 切	●	●	－
フレームレート	60i **標準（60i）**、PF24 PF24	●		－
AF補助光	A **オート**、OFF 切		●	90
フォーカス優先	AiAF **入：AiAF**、中央固定マーク 入：中央固定、OFF 切		●	－
静止画確認時間	OFF 切、2sec **2秒**、4sec 4秒、6sec 6秒、 8sec 8秒、10sec 10秒		●	－
セルフタイマー	ON 入（セルフタイマーマーク）、OFF **切**	●	●	53
ウィンドカット	A **オート**、OFF 切（ウィンドカット切マーク）	●		－

つづく

メニューの紹介

オートスローシャッター

暗めの室内など明るさが不足する場所でスローシャッターを使って明るく撮影します。

- 1/30秒までのスローシャッターになります。メニューで「フレームレート」を「PF24」に設定しているときは1/12秒、静止画記録時は1/15秒までになります。
- モードスイッチがAUTOまたはP（プログラムAE）のときに使用できます。
- 静止画記録時は、フラッシュが「発光禁止」のときに使用できます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に（手ぶれ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

デジタルズーム

デジタルズームの設定を選びます。

- デジタルズームを設定したときは、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では画像をデジタル処理するため、拡大するほど画像が粗くなります。
- ズーム表示は、10倍から40倍までは水色、40倍から200倍までは青色になります。
- 撮影モードをFUNC.メニューで「ナイト」に設定しているときは、使用できません。

AFモード

ピントが合う速さを選びます。

- 「ハイスピードAF」：遠くと近くの被写体に順にピントを合わせるときや、子供を追いかけるときなど被写体が速く動くときに、素早くピントを合わせます。
- 「ノーマルAF」：別売のワイドコンバーターやテレコンバーターをお使いのときは、ハイスピードAFセンサーを隠してしまうため、「ノーマルAF」にしてください。

フォーカスアシスト

ピントを調整するとき、画面の中央を拡大表示します。

- 拡大表示することで、ピントを合わせる部分が確認でき、ピント調整の手助けになります。
- 記録する画像には影響しません。撮影を開始すると解除されます。

手ぶれ補正

ズームの望遠側で撮影するときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- モードスイッチがAUTOのときは、自動的に「入」になります。
- 三脚などを使って撮影するときは、手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

フレームレート

「PF24」に設定すると、映画の雰囲気で撮影できます。

- 「60i」：通常通りに撮影します。
- 「PF24」：映画と同じように映像を24コマ/秒で送る方式で撮影します。「シネマモード」（📖 47）と組み合わせると、より映画の雰囲気に近い映像になります。

フォーカス優先

PHOTOボタンを浅く押したときに表示されるピントを合わせる枠（AF枠）の選びかたを変えられます。

- 「入：AiAF」：撮影状況によって、9つの枠の中から、自動でピントを合わせる枠を選ぶ。
- 「入：中央固定」：9つの枠の中央にピントを合わせる。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利。モードスイッチが**P**のとき使用できる。
- 「切」：PHOTOボタンを押してすぐに記録したいとき。
- 「切」を選んだとき、AF枠は表示されません。
- モードスイッチを**P**にして、変更してください。
- 撮影モードをFUNC.メニューで「打上げ花火」に設定しているときは、自動的に「切」になります。

静止画確認時間

カードに静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を変えます。

- ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。
- 静止画確認時間中にDISP.ボタンを押すと、静止画が表示され続けます。PHOTOボタンを浅く押すと、撮影状態に戻ります。

ウィンドカット

風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動的に低減できます。

- モードスイッチを**P**にして、変更してください。
- 低い音の一部も風の音と一緒に低減されますので、風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、設定を解除することもできます。

つづく

メニューの紹介

HDD実行

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		動画	静止画	動画	静止画	
HDD使用量 *1	—	●		●		—
HDD初期化 *1	いいえ、はい	●		●		76
落下検出 *1	ON 入、OFF 切	●		●		—
プレイリスト全消去 *2	いいえ、はい			●		74

*1　オリジナルのときのみ
*2　プレイリストのときのみ

HDD使用量

容量と使用量の目安を確認できます。

- ハードディスク容量は、0.1GB単位で計算され、0.1GBに満たない端数を切り捨てて表示します。また、管理ファイル領域があるため、容量（記録可能領域）は40GBより少なくなります。

落下検出

ご購入時は、本機が落下していることを検出すると内蔵ハードディスクを保護する「入」になっています。落下状態を検出すると、正常な撮影/再生ができないことがあります。落下検出時は が出ます。

- 通常は「入」（ご購入時の設定のまま）にして本機を使用してください。
  「切（ ）」にすると、落下したときに内蔵のハードディスクを損傷するおそれがあります。
- 本機が無重力状態になると、落下検出が作動します。ジェットコースターなど、本機を無重力状態で撮影するときは「切（ ）」にすると、落下検出が動作せず、そのまま撮影できます。

静止画実行

機能	設定内容	再生		📖
		動画	静止画	
印刷指定全消去	いいえ、はい		●	110
送信指定全消去	いいえ、はい		●	118
画像全消去	いいえ、はい		●	87
カード初期化	初期化、完全初期化、キャンセル		●	79

表示設定

機能	設定内容	カメラ 動画	カメラ 写真	再生 動画	再生 写真	参照
液晶明るさ調整	(明るさ調整バー)	●	●	●	●	–
オンスクリーン	ON 入、OFF 切	●	●			–
データコード	日付、時刻、**日付&時刻**、カメラデータ			●		–
マーカー	OFF 切、W水平(白)、G水平(グレー) W グリッド(白)、G グリッド(グレー)	●	●			–
言語	DEUTSCH (ドイツ語)、ENGLISH (英語)、ESPAÑOL (スペイン語)、FRANÇAIS (フランス語)、ITALIANO (イタリア語)、POLSKI (ポーランド語)、ROMÂNA (ルーマニア語)、TÜRKÇE (トルコ語)、РУССКИЙ (ロシア語)、УКРАЇНСЬКА (ウクライナ語)、العربية (アラビア語)、فارسی (ペルシャ語)、ภาษาไทย (タイ語)、简体中文 (簡体中国語)、繁體中文 (繁体中国語)、한국어 (ハングル)、**日本語**	●	●	●	●	–

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押して、またはセレクトリングを回して、調整します。
- ハードディスクやカードに記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。

オンスクリーン

液晶画面に表示される情報を、ステレオビデオケーブルで本機と接続したテレビの画面に表示します。

データコード

日付や時刻、カメラデータの表示のしかたを切り換えます。

つづく ▶

メニューの紹介

マーカー

画面に水平線や格子状の線（グリッド）が表示されます。被写体が水平/垂直になっているかを確認しながら撮影できます。

- 撮影された画像には表示されません。

言語

画面に表示される言語を変えます。

- メニューに表示される SET と FUNC. は、変わりません。

システム設定

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		動画	静止画	動画	静止画	
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	–
スピーカー音量	音量レベル、OFF			●		37
おしらせ音	大、小、OFF 切	●	●	●	●	–
パワーセーブ	ON 入、OFF 切	●	●			–
スタンバイ	10min 10分、20min 20分、30min 30分	●	●			–
静止画像画質	S LW スーパーファイン、LW ファイン、LW ノーマル			●		–
画像番号	オートリセット、通し番号	●	●	●		–
AV/ヘッドホン	AV AV、ヘッドホン	●		●		37, 43
ヘッドホン音量	音量レベル、OFF	●		●		37
テレビタイプ *	4:3 ノーマルテレビ、16:9 ワイドテレビ			●		–
コンポーネント出力*	480i 480i、1080i 1080i	●	●	●	●	–
HDMI出力状態	–	●	●	●	●	–
FIRMWARE	–				●	–

* HDMIケーブルで他の機器に接続されている場合は、設定できません。

リモコンセンサー

リモコンセンサーを受け付け、本機を操作します。

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ

バッテリーを使用時、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「⚠AUTO POWER OFF」が表示されます。
- スタンバイ中は、メニューの「スタンバイ」で設定した時間で電源が切れます。

スタンバイ

スタンバイ中に何も操作しないと、設定した時間で節電のために電源が切れます。

静止画像画質

動画から一場面を静止画として記録するときの画質を選びます（あとからフォト）。

画像番号

静止画の画像番号の付けかたを選びます。

- カードに記録した静止画は、自動的に0101～9900までの画像番号が付き、1つのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには、101～998までの番号が付きます。
- 例えば「101-0107」という画像番号の場合、「DCIM¥101CANON」というフォルダーにある「IMG_0107.JPEG」という静止画を指します。

「オートリセット」	画像番号は101-0101から始まる。すでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
「通し番号」	画像番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。画像番号の方が大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

テレビタイプ

接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

- 「4：3　ノーマルテレビ」　ノーマルテレビに接続するときに選ぶ。
- 「16：9　ワイドテレビ」　ワイドテレビに接続するときに選ぶ。
- テレビタイプの設定を4：3にして、16：9で撮影した映像を再生すると、液晶画面に表示される映像が小さくなります。
- メニューで「テレビタイプ」を「4：3」に設定している場合は、映像をカードに切りとれません（📖 98）。

ビデオ

つづく

メニューの紹介

コンポーネント出力

D端子のあるテレビとつなぐときに選びます。
- 「480i」：D1端子（480i）対応のテレビにつなぐとき。
- 「1080i」：D3/D4/D5端子（1080i）対応のテレビにつなぐとき。

HDMI出力状態

現在のHDMIミニ出力端子の出力状態を確認できます。

FIRMWARE

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。
- 通常は灰色で表示されます。

日時設定

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		動画	写真	動画	写真	
エリア/サマータイム	–	●	●	●	●	28
日付/時刻	–	●	●	●	●	28
日時スタイル	**Y.M.D（2007.1.1 AM12:00）**、M.D,Y（JAN. 1, 2007 12:00AM）、D.M.Y（1. JAN. 2007 12:00AM）	●	●	●	●	–

日時スタイル

日時の表示のしかたを変えます（印刷時を含む）。

FUNC. メニューの紹介

設定できる機能は、電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。 📖 欄が「–」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

機能	設定内容	カメラ		📖
		動画	静止画	
撮影モード	**P（プログラムAE）**、Tv（シャッター優先AE）、Av（絞り優先AE）	●	●	50
	シネマモード	●		47
	SCN（**ポートレート**、スポーツ、ナイト、スノー、ビーチ、夕焼け、スポットライト、打上げ花火）	●	●	48
測光	**評価測光**、中央部重点平均測光、スポット測光		●	93
ホワイトバランス	AWB **オート**、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H、セット	●	●	56
画質効果	**画質効果切**、くっきりカラー、すっきりカラー、ソフト、美肌、カスタム	●	●	58
D.エフェクト設定	**D.エフェクト切**、F1 オートフェード、F2 ワイプ、E1 シロクロ、E2 セピア、E3 アート	●		59
	D.エフェクト切、E1 シロクロ、E2 セピア		●	
ドライブモード	**単写**、連写、高速連写、AEB		●	91
録画モード	HXP 高画質モード15Mbps、XP 高画質モード9Mbps、**SP 標準モード**7Mbps、LP 長時間モード5Mbps	●		35
静止画記録	**静止画記録切**、LW 1920×1080、SW 848×480	●		95
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル	●		
静止画サイズ/画質	LW 1920×1080、**L 2048×1536**、M 1440×1080、S 640×480		●	82
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル		●	

つづく

メニューの紹介

機能	設定内容	再生		📖
		動画	静止画	
プレイリスト追加 *1	この日の全シーン、1シーン、キャンセル	●		73
移動 *2	―	●		75
消去	この日の全シーン、1シーン、キャンセル	●		40
日付選択 *1	―	●		39
スライドショー	キャンセル、スタート		●	85
画像プロテクト	―		●	99
印刷指定	0～99枚		●	108
送信指定	―		●	117

*1　オリジナルのときのみ
*2　プレイリストのときのみ

- FUNC.メニューでは、セレクトリングを回すことで機能を選択できます。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューが終了します。

プレイリストを作成する

プレイリストとは、撮影したシーンを再生（プレイ）したい順に並べた一覧（リスト）のことです。お好みのシーンを集めて自分だけのアルバムができます。プレイリストのシーンを移動したり、消したりしても、撮影したオリジナルデータは変わりません。オリジナルデータの1つのシーンまたはその日に撮影したシーンをすべてプレイリストに追加できます。

電源 再生　動画/静止画

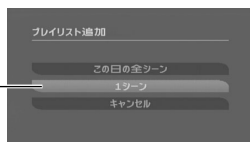
1 追加するシーンまたは追加する日のシーンを選ぶ

2 押す

3 （プレイリスト追加）を選び、SETを押す

4 項目を選ぶ

❶「この日の全シーン」または「1シーン」を選ぶ→SETを押す。

▼

❷「はい」を選ぶ→SETを押す。

● （プレイリスト/逆光補正）を押すと、追加したシーンが確認できる。

ビデオ

つづく

プレイリストを作成する

■ プレイリストのシーンを消す

プレイリスト内の不要なシーンを消すことができます。1シーンだけを消す方法のほかに、全シーンをまとめて消す方法もあります。

ひとつのシーンを消す

1. 押す

2. 消すシーンを選ぶ

3. 押す

4. シーンを消す

❶ (消去)を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

すべてのシーンをまとめて消す

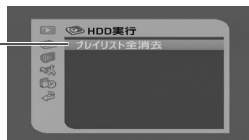
1. 押す

2. 全シーンを消す

❶ (メニュー)を選ぶ→ SET を押す。

❷「HDD実行」→「プレイリスト全消去」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

HDD実行
プレイリスト全消去

3. 押す

プレイリストのシーンを並べ換える

プレイリスト内のシーンをお好みの順に並べ換えられます。

電源 再生 動画/静止画

1 押す

2 移動するシーンを選ぶ

3 押す

4 （移動）を選び、SETを押す

5 移動する位置を選ぶ

❶ バーを移動する位置に動かす
→SETを押す。

● セレクトリングを回しても、
位置を動かせる。

❷「はい」を選ぶ→SETを押す。

ハードディスクを初期化する

HDD初期化

記録した映像をすべて消して、本機のハードディスクの記録容量を元に戻し、再び書き込み可能にします。また、長期間、撮影/消去を繰り返すとハードディスク内のファイルが断片化されて映像が正しく記録/再生できなくなることがあります。この場合は、ハードディスクを初期化して一度すべての情報を削除することで回復します。

電源　カメラ/再生　動画/静止画

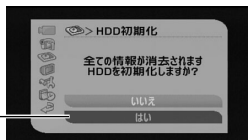
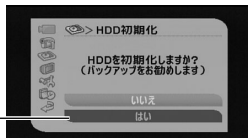
1 押す

2 HDD初期化を選ぶ

❶ （メニュー）→「HDD実行」を選ぶ→ SET を押す。

❷「HDD初期化」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

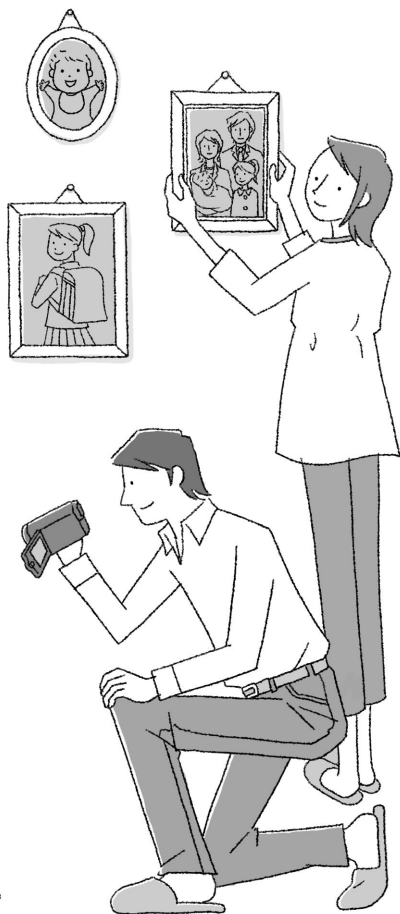
❹「はい」を選ぶ→ SET を押す。

3 押す

ご注意

- 初期化を行うと、すべての情報が消え、元に戻せません。必ず記録した映像をパソコンやほかのビデオ機器などにバックアップしてから初期化してください。
- 初期化中は電源を取りはずさないでください。
- パソコンを使って、本機のハードディスクを初期化しないでください。正常に動作しなくなります。

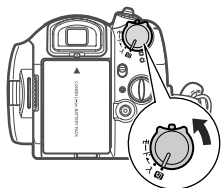
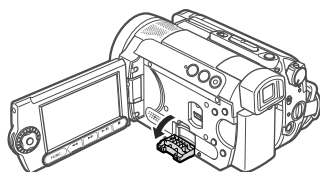
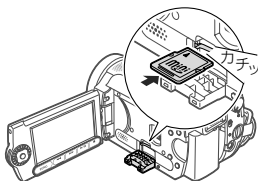
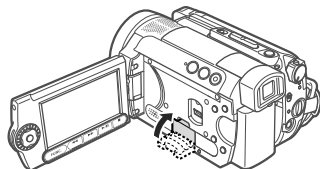
Chapter

2 写真

Taking and Viewing Photos

カードを入れる

本機では、市販のminiSD（ミニ）カードをお使いください。

カードをはじめて使用するときは、まず初期化してください（□ 79）。

1 電源を切る

2 カバーを開ける

3 カードをまっすぐ入れる

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

4 カバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

ご注意

カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。正しい向きで入れてください。

メモ

すべてのカードとの互換については保証しておりません。

■ カードを初期化する

電源 再生　動画/静止画 📷

カードをはじめて使用するときや、記録した静止画をすべて消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

FUNC.

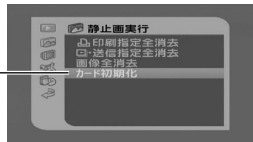
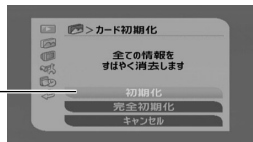
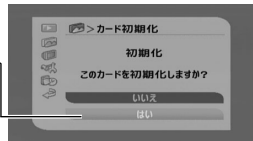
1. 押す

2. 初期化を選ぶ

❶ (メニュー)→「静止画実行」→「カード初期化」を選ぶ。

❷ SETを押す。

❸「初期化」または「完全初期化」を選ぶ→ SET を押す。

❹「はい」を選ぶ→ SET を押す。

完全初期化を中止するとき

SET (中止)を押す。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

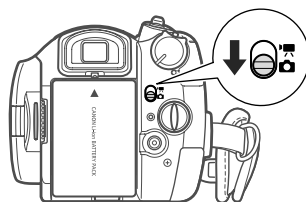
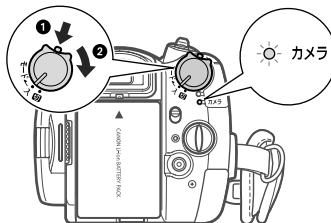
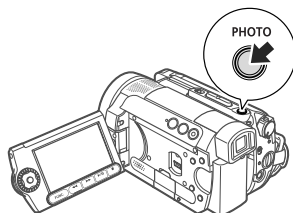
FUNC.

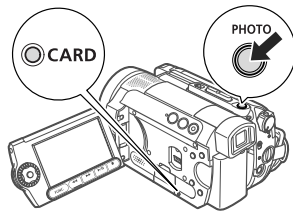
3. 押す

初期化すると、プロテクト設定した静止画まで、すべての情報が消え、元に戻せません。

写真を撮る

静止画はカードに記録されます。

1 にする

2 「カメラ」にする

3 浅く押し続ける

- ピントを調整し、終わるとが緑色になって緑色の枠が出る。
- リモコンのPHOTOボタンを押したときは、すぐに静止画が記録される。

4 深く押す

- カード動作ランプが点滅。

ご注意

画面右上に▶ が出たり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

・本機に振動や衝撃を与えない。
・カードカバーを開けない。
・電源を切らない。電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えない。
・バッテリーなどの電源を取りはずさない。

- 自動でピントが合いにくい被写体の場合は、◉が黄色くなります。手動でピントを調整してください（📖 54）。
- 被写体が明るすぎると「露出オーバー」が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-43U IIのNDフィルターを取り付けてください。

■ いま撮った写真を消す 動画/静止画 📷

メニューで設定した静止画確認時間中にいま撮った静止画を消せます。静止画確認時間（📖 63）を「切」に設定したときは記録直後に消します。単写で記録しているときに操作します。

1. 記録直後または静止画確認時間中 下を押す

2. 静止画を消す

「消去」を選ぶ→ SET を押す。

つづく

写真を撮る

■ 画質やサイズを選ぶ　動画/静止画

静止画のサイズは、高画質で撮るときは大きく、枚数を多く撮るときは小さく設定しましょう。**LW**を選ぶと、ワイド画面で撮影できます。

1. 押す

2. 静止画のサイズを選ぶ

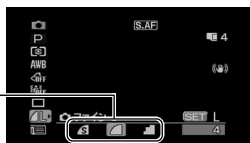
❶ 上下を押して◢Lを選ぶ。
● セレクトリングを回しても、◢Lを選択できる。

❷ 左右を押していずれかを選ぶ→SETを押す。

記録できる枚数の目安

3. 画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。

4. 押す

- 静止画の枚数が多いと、パソコンに静止画を取り込めないことがあります（Windows：1800枚以上、Macintosh：1000枚以上の場合）。その場合はカードリーダーやminiSDアダプターなどをお使いください。
- 1800枚以上の静止画があるときは、PictBridge対応プリンターに接続できません。快適に操作するために、100枚以下にしてください。
- 画質やサイズ、撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。

ポイント

カードに記録できる枚数の目安

画像サイズ	LW 1920×1080			L 2048×1536			M 1440×1080			SW 848×480*			S 640×480		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
32MB	20	30	60	10	20	40	25	40	80	105	150	305	140	205	375
128MB	90	135	265	60	85	180	120	180	350	450	635	1275	600	865	1560
512MB	350	525	1040	235	350	700	470	700	1370	1775	2515	5030	2320	3355	6040

*ハードディスク/カード同時記録（📖 95）のとき

スーパーファイン：スーパーファイン、ファイン：ファイン、ノーマル：ノーマル

静止画サイズによって用途が異なります

L 2048×1536　：A4サイズまでを印刷するとき

M 1440×1080　：Lサイズまたはポストカードサイズで印刷するとき

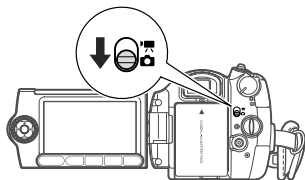
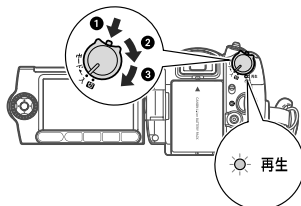
S 640×480　：電子メールで添付するときやWeb用

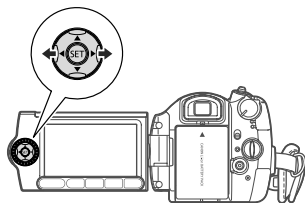
LW 1920×1080
SW 848×480　：ワイドサイズの用紙に印刷するとき

写真

写真を見る

撮った静止画を見てみましょう。

1 📷にする

2 「再生」にする

- 時計方向に回すたびに「カメラ」と「再生」が切り換わる。

3 静止画を選ぶ

■ すばやく探す

▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押し続けると、すばやく静止画を探せます。

■ 10枚/100枚ごとに探す

静止画を10枚または100枚ごとに飛ばして表示できます。

❶ SETを押す。操作案内が出る。

❷ ▲/▼/◀/▶ボタンの上（ ）を押して、▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押すか、セレクトリングを回すと10枚ごとに一気にジャンプする。

- 100枚ごとにジャンプしたいときは、▲/▼/◀/▶ボタンの上下を押す。SETを押すと終了する。

ご注意

- 画面右上に▶ 🂠 が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - ・カードカバーを開けない
  - ・電源を切らない
  - ・電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えない
  - ・バッテリーなどの電源を取りはずさない
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - ・本機以外の製品で記録したとき
  - ・パソコンで作成や加工をしたとき
  - ・パソコンでファイル名を変更したとき

■ 順番に再生する（スライドショー） 動画/静止画 📷

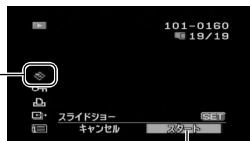
1. 押す

2. スライドショーを選ぶ

❶ 上下を押して（スライドショー）を選ぶ→ (SET) を押す。

- セレクトリングを回しても、を選択できる。

❷ 左右を押して「スタート」を選ぶ→ (SET) を押す。

101-0160
19/19
スライドショー
SET
キャンセル
スタート

スライドショーを止めるとき

FUNC.ボタンを押す。

写真

写真を見る

■ インデックス画面から選ぶ　動画/静止画

1. W側に押す

2. 静止画を選ぶ

- 緑色の枠を、再生したい静止画に合わせる。

インデックス画面をページごと送るとき

セレクトリングを回す。

- インデックス画面全体に枠が出る。

3. (SET)を押す

- 選んだ1枚の静止画が画面に出る。

■ 写真を消す(画像消去)　動画/静止画

静止画を1枚消したり、すべての静止画を一度に消したりできます。

ひとつの写真を消す

1. (SET)を押す

- 操作案内が出る。

2. 画像消去を選ぶ

❶ 下( )を押す。

❷ 右を押して「消去」を選ぶ →(SET)を押す。

すべての写真をまとめて消す

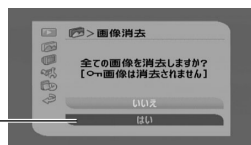
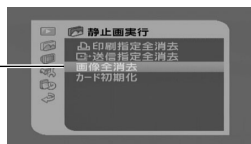
1. 押す

2. 画像全消去を選ぶ

❶ 上下を押して（メニュー）→「静止画実行」を選ぶ→ SET を押す。

❷「画像全消去」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 上下を押して「はい」を選ぶ→ SET を押す。

3. 押す

一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。

プロテクトされている静止画は消せません。

つづく

写真を見る

■ 写真を見ながら拡大する（再生ズーム）

動画/静止画

静止画を再生中に、T側に押すと最大5倍まで拡大できます。拡大した静止画を縮小したいときはW側に押します。拡大できない静止画のときは、が表示されます。

静止画を上下左右に動かす

拡大した後、静止画を上下左右に移動できます。

上下左右に動かすと静止画が動く。

画面の拡大をやめる

拡大表示ワクが消えるまでW側に押し続けます。

この枠が消えるまで押し続ける。

フラッシュを使う

フラッシュを使うと、暗いところで静止画をきれいに撮影できます。また、暗いところで人物を撮影したときに目が赤く写る現象を軽減することもできます。

電源 カメラ　動画/静止画 📷　モード AUTO/P

1 SET を押す

● 操作案内が出る。⚡が表示されないときは▲/▼/◀/▶ボタンの下を押す。

2 押す

● 左を押すたびに表示が変わる。

● ⚡A は約4秒後に消える。

⚡A	オート	被写体の明るさによって、自動で光る。
👁	赤目緩和オート	赤目緩和用にミニビデオライトが点灯し、フラッシュが自動で光る。
⚡	強制発光	被写体の明るさに関係なく光る。
🚫	発光禁止	光らない。

PHOTO

3 浅く押し続け、深く押す

● 浅く押し続けるとピントが合う。

■ 別売のビデオフラッシュライトVFL-1を使う

本機では、内蔵フラッシュよりも強い光を発光するビデオフラッシュライトを、アドバンストアクセサリーシューに取り付けて使用できます。フラッシュの設定のしかたは、内蔵フラッシュと同じです。取り付けかたや使いかたについては、ビデオフラッシュライトの説明書もあわせてご覧ください。また、ビデオフラッシュライトはビデオライトとしても使用できます。

ビデオフラッシュライトを取り付けると、画面に が出ます。

写真

つづく

フラッシュを使う

- 内蔵フラッシュで撮影できる距離は、約1～2mです。撮影条件により、距離は変わります。
- ビデオフラッシュライトVFL-1で撮影できる距離は約1～4mです。撮影条件により、距離は変わります。
- 連写のときはフラッシュの光量が減るため、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。
- ◎ では、写される人が赤目緩和用のミニビデオライトを見る必要があります。赤目緩和効果の度合は、写される人との距離によって異なり、また、個人差があります。
- 次の場合、フラッシュは発光しません。
  - ・ ⚡A と ◎ の場合に露出を固定したとき。
  - ・ ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
  - ・ FUNC.メニューで撮影モードを「打上げ花火」に設定しているとき。
- 露出を固定したときは、フラッシュの設定を変更できません。
- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたときは、影が映るため、フラッシュは使わないことをおすすめします。
- AF補助光について
  - ・ PHOTOボタンを浅く押したとき、被写体の明るさによって、ピントを合わせやすくするためにミニビデオライトが点灯することがあります。点灯しないようにすることもできます（📖 63）。
  - ・ 点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。
- レストランや劇場などの公共の場所では、周囲への配慮を心がけてお使いください。

連写する

ドライブモード

運動会で走る子供を連続して静止画で記録したり、子供の表情を自動的に3段階の明るさにして撮ったりできます。
撮影モードをFUNC.メニューの「打上げ花火」に設定しているときは操作できません。

電源 カメラ　動画/静止画 📷　モード P

1 押す

2 設定する内容を選ぶ

❶ 上下を押して □ を選ぶ。
- セレクトリングを回しても、□ を選択できる。

❷ 左右を押していずれかを選ぶ。

□	単写	1枚の静止画を撮影。
	連写	連続撮影。
	高速連写	高速の連続撮影。
	AEB	標準、暗め、明るめの順で3枚の静止画を連続撮影。撮影後、最適な明るさを簡単に選べる。

3 押す

4 浅く押す

- ピントを合わせる。

5 連写/高速連写の場合 深く押し続ける

AEBの場合 深く押す

写真

つづく ▶

連写する

- AEBはAuto Exposure Bracketing（オート エクスポージャー ブラケッティング）の略。
- 1回の連写で記録できる最大枚数の目安

1秒あたりの記録枚数			連続記録可能枚数
連写	高速連写	フラッシュ使用時	
約3枚	約5枚	約2.1枚	60 枚

*枚数は撮影条件や被写体によって変わります。スローシャッター（1/30秒以下）のときは、1秒あたりの連写枚数が少なくなります。

明るさの調整のしかたを選ぶ

測光

通常、カメラは被写体に当たる光を自動的に測って、撮影する明るさを決めます。夕闇に映し出されたタワーを画面の中央におさめて、きれいに撮るときには「中央部重点平均測光」を使います。被写体に応じて、光の測定方法を選択できます。

電源 カメラ　動画/静止画 [カメラ]　モード P

1 押す

2 目的の測光のしかたを選ぶ

❶ 上下を押して[評価測光]を選ぶ。

● セレクトリングを回しても、[評価測光]を選択できる。

❷ 左右を押していずれかを選ぶ。

[評価測光] 評価測光	ふだんの撮影のときに適している。画面内を分割して測光する。被写体の位置や明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の要素を本機が判断し、被写体を常に適正な明るさにする。
[中央部重点平均測光] 中央部重点平均測光	画面全体の明るさのバランスをとりながら、中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光する。
[スポット測光] スポット測光	画面中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の枠（[　]）内を測光する。

3 押す

写真

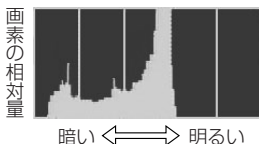
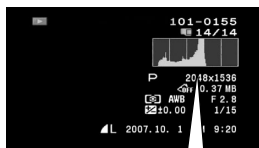
写真の明るさを図で確認する

ヒストグラム

撮影した静止画の明るさを確認して、撮影するときの明るさの目安にしましょう。この明るさの図を「ヒストグラム」といいます。画素の相対量が図の右側に多いと明るく、左側に多いと暗いことを表しています。ヒストグラムの表示は、DISP.ボタンを押して消せます。

電源 再生　動画/静止画

1 押す

● 押すたびに表示が切り換わる。ヒストグラムなどのすべての表示→記録枚数、日時、画質などの表示→画面表示なし。

メモ

ヒストグラムは静止画記録モード時、メニューで設定した静止画確認時間中にも表示されます。（記録直後にDISP.ボタンを押して、画面表示を消している場合を除く）

ビデオを撮りながら写真(カード)も撮る

ハードディスク/カード同時記録

動画撮影中または撮影一時停止中に、カードに静止画を記録できます。カードに記録される静止画の画質やサイズは選べます。

1 撮影一時停止中 押す

2 サイズを選ぶ

❶ 上下を押して OFF を選ぶ。

● セレクトリングを回しても、OFF を選択できる。

❷ 左右を押していずれかを選ぶ → SET を押す。

記録できる枚数の目安

3 画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。

4 押す

5 撮影中 撮影一時停止中 押す

● 静止画がカードに記録される。

● デジタルエフェクト実行中やデジタルズームを使用しているときは、カードに記録できません。

● 高画質での記録はカード静止画記録モードをおすすめします。

知ってて便利な使いかた

静止画記録時にズームやセルフタイマーを使ったり、明るさを調整したりできます。使いかたについては、それぞれの参照ページをご覧ください。

1 撮影チャンスを逃さない

クイックスタート 📖 32

クイックスタートボタンを押すと、省エネ状態で スタンバイします。撮りたいときに再びボタンを押せば、約1秒で撮影可能状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

2 拡大して撮る ズーム 📖 34

10倍まで拡大(望遠)して撮影できます(光学ズーム)。静止画撮影のときは、デジタルズームは使えません。

3 場面に合わせて撮る

スペシャルシーンモード(SCN) 📖 48

動きの速いスポーツシーン、照り返しの強いスキー場、打上げ花火や夕焼けなど、撮影がむずかしい被写体を簡単に撮ることができます。

4 動きの速いものを撮る/背景をぼかして撮る

シャッタースピード/しぼり 📖 50

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れの流動感を表現できます。しぼり数値が小さい(開く)と背景をぼかしたポートレート、大きい(閉じる)と風景を全体的にはっきりと、撮影できます。

5 ミニビデオライトを使う 📖 52

暗いところで撮影する場合、ミニビデオライトを使って被写体を明るく撮影できます。

6 セルフタイマーを使う 📖53

PHOTOボタンを押してから約10秒後(リモコン使用時は約2秒後)に撮影されます。記念撮影のときなど、自分自身が被写体に入るときに便利です。

7 ピントを合わせる 📖54

夜景や動きが速い被写体を撮るときなどは自動でピントが合いにくくなります。そのようなときは、ピントを調整します。

8 明るさを調整する 露出 📖55

逆光で撮影すると被写体が黒く写ったり、強い光が当たる場所を撮影すると全体が白く飛んでしまったりすることがあります。このようなときは明るさ(露出)の調整をします(逆光補正はワンタッチで行えます)。

9 色合いを調整する ホワイトバランス 📖56

太陽光の状態によって白いものもオレンジ色を帯びたり、青っぽくなったりします。撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色調整することができます。

10 好みの画質にする 画質効果 📖58

肌をなめらかに表現してきれいに撮影することができます。ほかにも、輪郭の強調を抑えてソフトに撮影したり、コントラストに強弱を付けて撮影することも可能です。

11 場面の切り換えと特殊効果 デジタルエフェクト 📖59

シロクロやセピア色にして、思い出の静止画にひと工夫加えることができます。静止画のときはフェーダーは使用できません。

12 買ったときの設定を変える 📖62

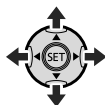
さまざまな機能がメニューから設定できます。設定方法は62ページに、各機能については63ページ以降に説明があります。

映像を写真として切りとる

あとからフォト

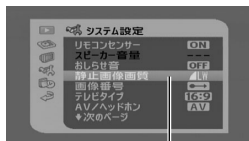
撮影した映像から、気に入った一場面をカードに静止画として切りとれます。カードに記録される静止画サイズは1920×1080です。画質は選べます。テレビタイプを16:9に設定したとき（📖 69）に使用できます。

電源　再生　動画/静止画　🎥

1 押す

2 静止画の画質を選ぶ

❶ 左右を押して（メニュー）→「システム設定」を選ぶ→SETを押す。

❷ 上下を押して「静止画像画質」を選ぶ→SETを押す。

❸ 上下を押していずれかを選ぶ→SETを押す。

3 押す

4 押す

- 再生が始まる。
- 記録したい場面でもう一度スタート/ストップボタンを押して再生一時停止にする。

5 深く押す

- 動画を撮影したときの日付や時刻が、静止画の撮影日時として設定されます。
- 動きの速い映像をカードに切りとると、ブレた静止画になることがあります。

写真を保護する

画像プロテクト

カード内の大切な静止画を誤って消さないように保護します。

電源 再生　動画/静止画 📷

FUNC.

1 押す

2 プロテクトを選ぶ

❶ O┳（画像プロテクト）を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押す。

● O┳ が出る。

他の静止画を保護するとき

▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押して、SET を押す。

設定を解除するとき

❷ でもう一度 SET を押す。

FUNC.

3 2回押す

ご注意

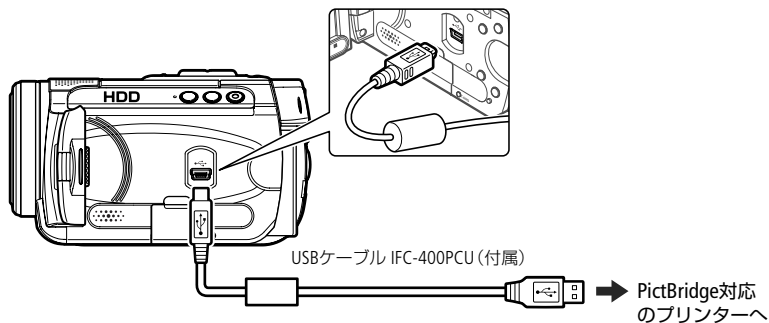
プロテクト設定をしても、カードを初期化するとすべての静止画は消えます。

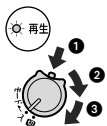
写真を印刷する

本機に直接、別売のPictBridge対応プリンターを接続できます。パソコンなしで簡単な操作で印刷できます。印刷指定すると連続で印刷できます（📖 108）。

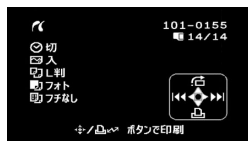
キヤノン製プリンター：PictBridge対応SELPHY CP/ES/DSシリーズ/PIXUSシリーズ

電源 再生　動画/静止画 📷

■ プリンターとつなぐ PictBridge

1 本機 カードを入れる

2 本機 「再生」にする

3 プリンター 電源を入れる

4 本機とプリンターをつなぐ

- 本機の画面に が点滅した後、 が出る。
- (イージーダイレクト) ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に出る。

ご注意

- 操作4で が約1分以上点滅し続ける場合、または が出ない場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してからつないでください。
- 以下の操作を本機で行っている間は、プリンターにつないでも認識されません。
  ・静止画をすべて消すとき
  ・印刷指定をすべて消すとき
  ・送信指定をすべて消すとき

- 印刷できない静止画のときは が表示されます。
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

写真

つづく

写真を印刷する

■ 簡単に1枚印刷する

静止画を選んでそのまま1枚印刷するときは、印刷/共有ボタンを押すだけで印刷できます。

1 印刷する静止画を選ぶ

2 押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。
- 印刷中は印刷/共有ボタンが点滅し、終了すると点灯。

続けてほかの静止画を印刷するとき

▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押して静止画を選ぶ。

■ 用紙や枚数などを選んで印刷する

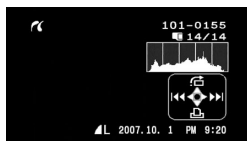
1

操作案内が出ていないとき

SETを押す

- 操作案内が出る。

2 下（印刷）を押す

- 印刷設定画面が出る。

3 設定する項目を選び、(SET)を押す

用紙設定	用紙サイズ	プリンターによって異なります。
	用紙タイプ	フォト、高級フォト、標準設定、普通紙
	レイアウト	フチなし、フチあり、2/4/8/9/16面配置、標準設定
(日付印刷)		入、切、標準設定
(画像補正-イメージオプティマイズ)		入、切、VIVID、NR、VIVID+NR、標準設定
(印刷枚数)		1～99枚

4 設定内容を選び、(SET)を押す

5 「印刷」を選び、(SET)を押す

● 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。

続けてほかの静止画を印刷するとき

▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押して静止画を選ぶ。

印刷を中止するとき

印刷中に(SET)を押す。確認画面が出たら、「OK」を選び、(SET)を押す。

印刷中に異常が発生したとき

「用紙がありません」、「用紙が詰まりました」、「インクがありません」などのお知らせ表示（□ 130）が本機の画面に出る。

写真

つづく▶

写真を印刷する

- キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合：お知らせ表示の内容を解決する。印刷が自動で再開されないときは、▲/▼/◀/▶ボタンで［続行］を選んでSETを押す。［続行］を選択できないときは、［中止］を選んでSETを押し、印刷し直す。プリンターの説明書もあわせて確認する。
- 以上の操作でも印刷が再開しないときは、次の操作をする。
  ①USBケーブルを抜く
  ②本機の電源スイッチを一度切にしてから、再び「再生」にする
  ③USBケーブルをつなぐ

印刷が終了したとき

❶ USBケーブルを本機とプリンターから抜く
❷ 本機の電源を切る

ご注意

- 次のような場合、静止画がPictBridge対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
  ・パソコンで作成や加工をした静止画をカードに書き込んだとき。
  ・本機で記録した静止画をパソコンで直接加工したとき。
  ・静止画のファイル名を変更したとき。
  ・本機以外の製品で記録したカードを本機に入れたとき。
- 印刷中に、次の操作はしないでください。
  ・動画/静止画切り換えスイッチを切り換える。
  ・本機とプリンターの電源を切る。
  ・本機とプリンターからUSBケーブルを抜く。
  ・カードカバーを開けたり、カードを本機から取り出す。
- 本機とプリンターをつないでいるときに、「処理中...」が長時間表示される場合、USBケーブルを一度抜き、つなぎ直してください。

- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。
- 「フチあり」：撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷。
- 「フチなし」：撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右をカットして印刷されることがある。
- VIVID、NR、VIVID＋NRは、キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズをお使いの場合に設定できます。
- 画像補正は、画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターを使うときに設定できます。
- 「用紙設定」の「レイアウト」で設定できる配置のしかた（キヤノン製プリンター）

	カード	L判	はがき	A4
PIXUS/SELPHY DSシリーズ	–	–	2/4/9/16面配置（専用のシール紙にも印刷可能）	4面配置
SELPHY ES/CPシリーズ	2/4/8面配置（8面配置のとき専用のシール紙にも印刷可能）	2/4面配置	2/4面配置	–

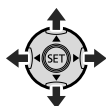
*SELPHY CPシリーズの場合は、ワイド用紙を使用して「標準設定」を選ぶと、2/4面配置ができます。

写真

印刷する範囲を選ぶ

トリミング

用紙設定などの印刷設定（□ 102）を行った後に、トリミングを設定します。

電源 再生　動画/静止画 📷

1 トリミングを選ぶ

「トリミング」を選ぶ→ SET を押す。

2 W/T側に押す

● 印刷される枠の大きさが変わる。

縦長と横長を切り換えるとき

SET を押す。

トリミングを解除するとき

枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に押す。

3 上下左右を押す

● 枠が移動する。

4 押す

● 印刷するときは103ページの操作5をご覧ください。

- 枠の色について
  枠は、2色あります。トリミングするときの目安にしてください。
  白：トリミングの設定が行われていません（お買い上げ時の設定）。
  緑：トリミングの設定が行われています。
- トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。
- トリミングの設定は、次の操作をすると解除されることがあります。
  ・本機の電源を切る。
  ・接続ケーブルを抜く。
  ・トリミングの枠を、最大より大きくする。
  ・用紙サイズを変える。
- 他機から取り込んだ静止画はトリミングできないことがあります。

印刷する写真を選ぶ

印刷指定

印刷したい静止画と枚数を指定できます。998枚までの静止画に印刷指定できます。PictBridge対応のプリンターで自動印刷できます。本機にUSBケーブルをつなぐ前に、操作をしてください。

電源 再生　動画/静止画

■ 設定する

1 押す

2 印刷指定を選ぶ

(印刷指定)を選ぶ→SETを押す。

● セレクトリングを回しても選べる。

3 枚数を選ぶ

❶ SETを押す。

● 枚数がオレンジ色になる。

❷ 上下を押して枚数を選ぶ→SETを押す。

印刷指定を解除するとき

❷で枚数を「0」にする。

FUNC.

4 2回押す

■ 印刷する

1 本機とプリンターをつなぐ（□ 100）

2 押す

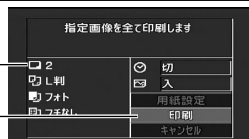
3 印刷を選ぶ

（メニュー）→「➡ 印刷」を選ぶ→ SET を押す。

- 印刷設定画面が出る。
- 印刷指定をしていないときは、「 印刷指定が必要です」が出る。
- セレクトリングを回しても選べる。

4 印刷する

- 印刷指定による全印刷枚数が出る。

「印刷」を選ぶ→ SET を押す。

- 印刷が始まり、終了すると再生画面に戻る。

写真

つづく

印刷する写真を選ぶ

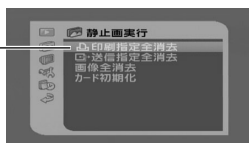
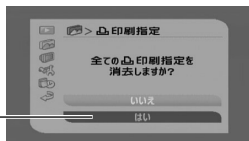
■ すべての印刷指定を消す

1枚の静止画を再生している時に操作します。

1 押す

2 印刷指定全消去を選ぶ

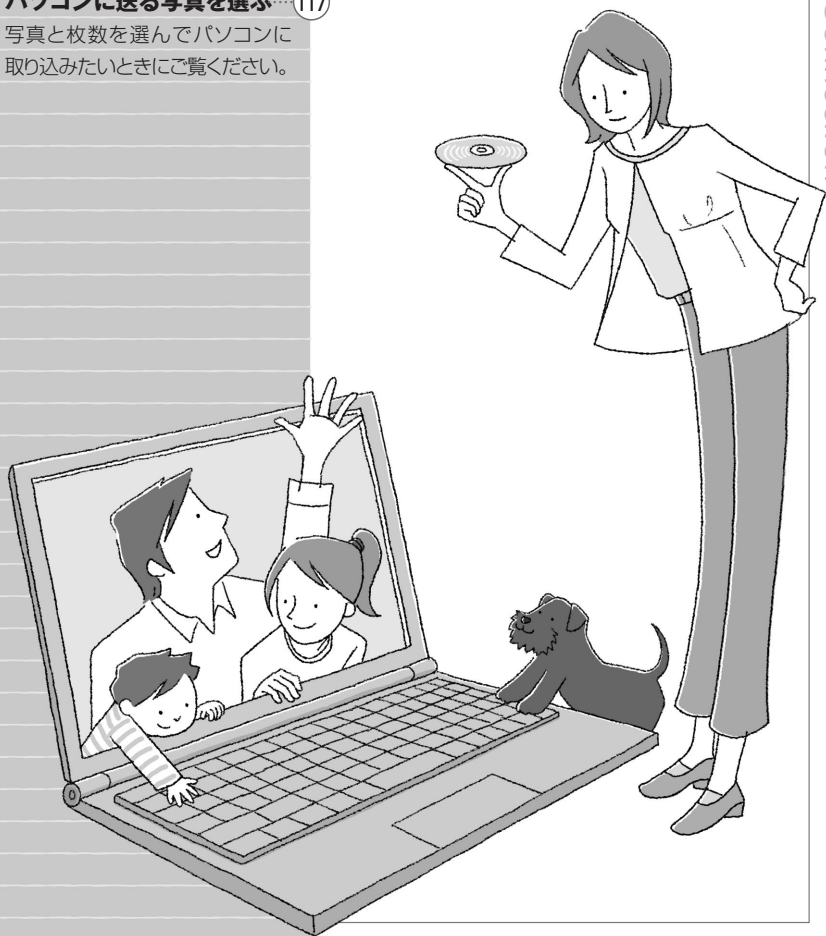
❶ （メニュー）→「静止画実行」→「 印刷指定全消去」を選ぶ→ を押す。

❷「はい」を選ぶ→ を押す。

● すべての印刷指定が消える。

3 押す

メモ

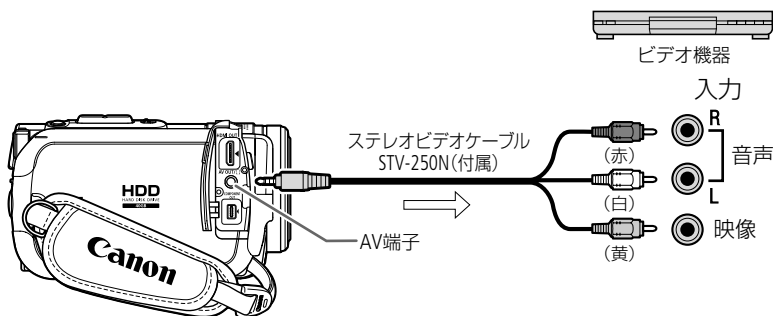
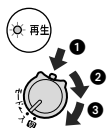
- 接続するプリンターによっては、109ページの操作3の後に、用紙設定などの印刷設定ができます（ 102）。
- **印刷を中止するとき/印刷中に異常が発生したとき**（ 103）
- **印刷を再開するとき**
  - ・FUNC.ボタンを押し、（メニュー）→「➡ 印刷」を選びます。印刷設定画面から「印刷」（1枚目で中断したとき）または「再開」（2枚目以降で中断したとき）を選び、を押すと、残りの静止画が印刷できます。
  - ・印刷を再開する前に印刷指定を変更したり、印刷指定をした静止画を消した場合は再開されません。

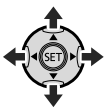
Chapter
3
ダビングやパソコン転送

Copying Movies/PC Connection

ほかのビデオ機器へ録画する

本機で撮った動画を映像/音声端子付きのビデオ機器にダビングできます。ハイビジョンで記録した動画は、標準画質としてダビングされます。

電源 再生 動画/静止画

■ 接続する

■ 操作する

1 本機 「再生」にする

2 録画機 録画一時停止状態にする

3 本機 再生を始めるシーンを選ぶ

4 本機 押す

- 再生が始まる。
- 本機に表示される日時やカメラデータを入れて録画できる。DISP.ボタンを押すたびに、表示が切り換わる（□ 41）。

5 録画機 録画を開始する場面で、録画を始める

6 録画機 録画を終える

7 本機 押す

- 再生が終わる。

コンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。

パソコンに写真を取り込む

ダイレクト転送

付属のUSBケーブルとDigital Video Softwareを使うと、 (イージーダイレクト)ボタンを押すだけで、簡単に静止画をパソコンに転送できます。

電源 再生 動画/静止画

■ 準備する

はじめてビデオカメラをパソコンにつなぐときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

1 パソコンにDigital Video Softwareをインストールする

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Disk使用説明書

付属のUSBケーブル

2 本機とパソコンをつなぐ

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」

3 自動起動を設定する

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「CameraWindowを起動する」(Windows)、「自動で取り込む」(Macintosh)

● ビデオカメラの画面にダイレクト転送メニューが出て、 ボタンが点灯。

ご注意

- 本機をパソコンに接続したときは、ハードディスクにあるフォルダー/ファイルをパソコンから操作しないでください。記録したデータが破損するおそれがあります。ハードディスクに記録したデータをパソコンに保存するときやパソコンからビデオカメラにデータを書き戻すときは、付属のCorelソフトウェアまたは、バックアップユーティリティを使ってください。
- ビデオカメラのカード動作ランプが点滅しているときは、データが破損することがありますので、次のことを必ず守ってください。
  ・本機に振動を与えない。
  ・カードカバーを開けない。
  ・USBケーブルを抜かない。
  ・本機やパソコンの電源を切らない。
  ・電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えない。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様/設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、静止画は必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。
- 以下の操作を本機で行っている間は、パソコンにつないでも認識されません。
  ・静止画をすべて消すとき
  ・印刷指定をすべて消すとき
  ・送信指定をすべて消すとき

メモ

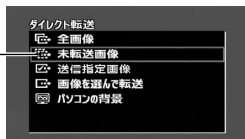
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- Windows Vista、XPとMac OS Xをお使いの場合
  ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで、付属のDigital Video Softwareをインストールしなくても、静止画をパソコンに取り込めます。

つづく

パソコンに写真を取り込む

■ 画像を転送する

1 転送方法を選ぶ

転送方法を選ぶ。

全画像	すべての静止画。
未転送画像	まだ転送していない静止画。
送信指定画像	送信指定した静止画（📖 117）。
画像を選んで転送	静止画を選んで転送。
パソコンの背景	パソコンのデスクトップの背景にする静止画。

「画像を選んで転送」「パソコンの背景」のとき

❶ SET を押す。

❷ 静止画を選ぶ。

2 押す

- 全画像、未転送画像、送信指定画像：転送された画像がパソコンの画面に出る。転送を中止するときは、SET（キャンセル）を押す。
- 「画像を選んで転送」の場合は転送された画像がパソコンの画面に出る。「画像を選んで転送」、「パソコンの背景」の場合、続けて他の静止画を選ぶときは操作1の❷～操作2を繰り返す。
- 「画像を選んで転送」、「パソコンの背景」の場合、転送中は ボタンが点滅。
- FUNC.ボタンを押すと、操作1の画面に戻る。

メモ

- ▲/▼/◀/▶ボタンで「全画像」「未転送画像」「送信指定画像」を選んで SET を押すと、確認画面が出ます。▲/▼/◀/▶ボタンで「OK」を選び、SET を押すと転送が始まります。
- ビデオカメラとパソコンをつないだときに、画像を選ぶ画面が出た場合は、FUNC.ボタンを押してください。ダイレクト転送メニューになります。

パソコンに送る写真を選ぶ

送信指定

パソコンに転送する静止画を指定できます。998枚までの静止画に送信指定できます。本機とパソコンをUSBケーブルで接続する前に、操作をしてください。

電源 再生 動画/静止画

■ 設定する

1 押す

2 送信指定を選ぶ

❶ (送信指定)を選ぶ→SETを押す。

❷ SETを押す。

● ☑が出る。

他の静止画を指定するとき

▲/▼/◀/▶ボタンの左右を押して、SETを押す。

設定を解除するとき

❷でもう一度SETを押す。

3 2回押す

ダビングやパソコン転送

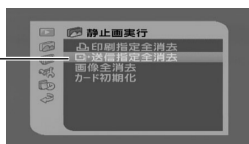
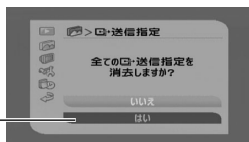
つづく

■ すべての送信指定を消す

1枚の静止画を再生している時に操作します。

1 押す

2 送信指定全消去を選ぶ

❶ （メニュー）→「静止画実行」→「送信指定全消去」を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

3 押す

Chapter 4 ふろく

Additional Information

故障かな？

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。特にほかの機器につないでいるときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、修理受付センターまたはご購入になった販売店にご相談ください。

修理に出される場合のご注意

●修理内容によっては、ハードディスクの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、ハードディスク内のデータはすべて消去されてしまいます。そのため、修理に出される前に、ハードディスク内のデータをバックアップしておいてください（📖 46）。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。

●修理において、不具合症状の発生/確認のために、必要最小限の範囲でハードディスク内のデータを確認させていただくことがあります。ただしそれらのデータをキヤノンで複製/保存することはありません。

	こんなときは	どうするの？	📖
電源	電源が入らない 途中で電源が切れる 画面がついたり消えたりを繰り返す	• バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 • バッテリーを正しく装着し直す。	24
電源	充電ランプが速い点滅になる	• （0.5秒に1回の点滅） コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。修理受付センターにご相談ください。	—
		• （1秒ごとに2回の速い点滅） バッテリーが半分以上充電されている。故障ではない。	25
電源	バッテリーが充電できない 充電ランプがゆっくりと点滅する（2秒ごとに1回）	• 0℃～40℃の温度で充電する。 • バッテリーを使用直後、バッテリーの温度が高くなり、充電温度範囲外になっている。バッテリーをしばらく放置して、温度が40℃以下になってから充電を開始する。 • バッテリーが故障している。別のバッテリーを使う。	25
電源	電源が入っているのに操作できない	• 本機が高温になっている（ が画面に出る）ので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	—

	こんなときは	どうするの？	📖
電源	電源が入っているのに操作できない	• 本機が低温になっている（ が画面に出る）ので、電源を入れたまましばらく放置する。その後操作できないときは、一度電源を切り、急激な温度変化を避けて暖かい場所に移動してから電源を入れる。	—
撮影・再生	操作ボタンを押しても動かない	• 電源を入れる。	30
	画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない	電源を取りはずし、しばらくしてから取り付けて操作する。それでも解決しない場合は、電源を取りはずし、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押す。すべての設定が解除される。	15
	画面でが点滅する	バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	24
	リモコンが動作しない	• メニューで「リモコンセンサー」を「入」にする。 • リモコンの電池を交換する。	69 26
	画面にノイズが出る	プラズマテレビや携帯電話などの近くで本機を使っているときは、テレビや携帯電話などから離す。	—
	テレビの放送画面にノイズが出る	テレビの近くで使用しているときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	—
	本機が振動する	ハードディスクの状態によっては本機が振動することがある。故障ではない。	—
	本機から小さな音が聞こえる 一定の間隔で本機から動作音がする	ハードディスクを定期的に動作させている音で、故障ではない。	—

故障かな？

	こんなときは	どうするの？	📖
撮影・再生	長時間使うと熱くなる [icon] が赤く点灯する	故障ではない。電源を切ってから、涼しい場所でしばらく放置し、本機を冷ます。	—
	以下のときに時間がかかる • シーンを消去するとき • 電源スイッチを切り換えて、動画の撮影/再生可能になるまで • 動画撮影中から一時停止になるまで • 最後に撮ったシーンを確認するとき	シーン数が多いとこのようになることがある。映像をバックアップしてハードディスクを初期化する。	46 76
ハードディスク撮影	[icon] が赤く点滅する	本機が故障している。修理受付センターにご相談ください。	—
	画面に横帯が見える	本機は撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、蛍光灯・水銀灯・ナトリウム灯などの照明下で横帯が見えることがある。この場合は、モードスイッチをAUTOにすると症状が軽減される。故障ではない。	32
	被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える	本機は撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切った場合、被写体が少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
	画面に映像が映らない	動画/静止画切り換えスイッチを [icon] にし、電源スイッチを「カメラ」にする。	30
	スタート/ストップボタンを押しても録画しない	• 動画/静止画切り換えスイッチを [icon] にし、電源スイッチを「カメラ」にする。 • 直前に撮影した映像をハードディスクに書き込んでいる。ハードディスクへの書き込み中は撮影できない。	30 31

こんなときは		どうするの？	📖
ハードディスク撮影	スタート/ストップボタンを押しても録画しない	• 本機のハードディスクの空き容量がない。不要な映像を削除する。または、初期化する。 • 動画のシーン数が本機で撮影できる上限を超えている。不要な映像を削除する。 • （落下検出）が出ているときは、撮影できないことがあります。 • 本機が高温になっている（ が画面に出る）ので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。 • 本機が低温になっている（ が画面に出る）ので、一度電源を切り、急激な温度変化を避けて暖かい場所に移動してから電源を入れる。	40 76 40 66 — —
	撮影を中断してもHDD動作ランプが点灯している	撮影したシーンをハードディスクに書き込んでいる。故障ではない。	—
	スタート/ストップボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる	スタート/ストップボタンを押してから、実際に録画が始まったり終わったりするまでに時間差が多少かかることがある。故障ではない。	—
	撮影を始めても、すぐ止まってしまう	• 大音量の場所、振動する場所から移動する。 • 本機が高温になっている（ が画面に出る）ので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	—
	ピントが合わない	• ピントの自動調整が苦手な被写体です。手動でピントを調整する。 • ファインダーを引き出して、視度調整レバーで、画像がはっきり見えるように調整する。 • レンズやハイスピードAFセンサーが汚れている。ブロアーでゴミやホコリを取り除き、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで軽く拭く。ティッシュペーパーは使わない。	54 31 140

故障かな？

	こんなときは	どうするの？	📖
ハードディスク撮影	音がひずんだり、実際より小さく記録される	大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、音がひずんだり、実際より小さく記録されることがある。故障ではない。	—
	ファインダーの画像がはっきりしない	ファインダーを引き出して、視度調整レバーで調整する。	31
ハードディスク再生	再生ボタンを押しても再生しない	• 動画/静止画切り換えスイッチを 🎥 にし、電源スイッチを「再生」にする。 • 本機が高温になっている（[高温マーク] が画面に出る）ので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。 • 本機が低温になっている（[低温マーク] が画面に出る）ので、一度電源を切り、急激な温度変化を避けて暖かい場所に移動してから電源を入れる。	36 — —
	雑音が聞こえる	• 撮影中に本機を動かさない（撮影中に本機を急に動かすと、ハードディスクの駆動音が記録されることがあります）。	—
	プレイリストに追加できない	• プレイリストに映像が999個ある場合は追加できない。	—
	映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない	• 液晶画面を開く。 • スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。	29 37
他機	ハードディスクは回っているが、テレビに映像が出ない	• テレビ側で接続した端子に切り換える。	42
	テレビで音声が出ない	D端子ケーブルでテレビにつないでいる場合は、音声を出すため、ステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。	43
	HDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない	HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直す。	—

	こんなときは	どうするの？	📖
カード	カードが入らない	カードの向きを確認して、正しい向きでカードを入れる。	78
	カードに記録できない	• カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、静止画を消す。 • カードが初期化されていない。カードを初期化する。 • 画像番号が最大になっていて、ファイル名が作成できない。メニューで「画像番号」を「オートリセット」にし、新しいカードを入れる。 • FUNC.メニューの「静止画記録」を「OFF静止画記録切」に設定している場合は、ビデオを撮りながら写真を同時に記録できない。 • メニューで「テレビタイプ」を「4：3」に設定している場合（ が出る）は、映像を静止画としてカードに切りとれない。「16：9」に設定する。	86 79 69 71 69
	カードが再生できない	• カードを入れる。 • 動画/静止画切り換えスイッチを にし、電源スイッチを「再生」にする。	78 84
	静止画を消せない	画像のプロテクト設定を解除する。	99
	が赤く点灯する	• カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。 • カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、静止画を消す。	78 79 86
印刷	本機とプリンターが正しく接続されているのに、プリンターが動作しない	• 動画/静止画切り換えスイッチを にし、本機の電源スイッチを「再生」にする。 • 接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直す。	84 —
その他	本機からカタカタ音がする	電源を切ると内部のレンズが動く音。故障ではない。	—

ふろく

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

	メッセージ	どんな意味？	📖
お知らせ表示（約4秒間表示）	バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	24
	スタンバイに入れません	バッテリー残量が少なくなっているときはスタンバイに入れません。	—
	カメラの温度が上がりました カメラの電源を切ってお待ちください	本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	134
	カメラの温度が低すぎます カメラの電源を入れたままお待ちください	本機の温度が低すぎるので、が消えるまで電源を入れたままで待つ。	134
	低温のため動作できません 暖かいところでお使いください	気温が低すぎるので本機が動作できない。気温が0～40℃の場所に移動する。	134
	高温のため記録できません	本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	134
	記録できません	• ハードディスクに異常があるため、記録できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	— 139
	シーン数がいっぱいです	記録可能なシーン数を超えた。不要な動画を消す。	40

	メッセージ	どんな意味？	📖
お知らせ表示（約4秒間表示）	追加できませんでした	プレイリストに追加できなかった。 プレイリストは999個を越えて映像を追加できない。 プレイリストの不要なシーンを消す。	74
	再生できません	ハードディスクに異常があるため、再生できない。結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	139
	高温のため再生できません	本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから再生する。	134
	HDDが認識できません	• ハードディスクを認識できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 • 本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから使用する。	– 139 134
	認識できない記録方式です	PAL方式などNTSC方式以外の記録方式の映像を本機に書き戻した。	–
	アクセスエラーです	• ハードディスクの書き込み中または読み込み中にエラーが発生した。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	– 139
	振動を与えないでください	記録しているときは振動を与えない。	133
	データを修復できませんでした	• 壊れたデータを修復できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	– 139
	HDDがいっぱいです	ハードディスクに空き容量がない（画面で「HDD END」が点灯）。不要な動画を消す。	40

メッセージが出たら?

	メッセージ	どんな意味?	📖
お知らせ表示(約4秒間表示)	処理中です 電源をはずさないでください	ハードディスクに書き込んでいるので、電源をはずさない。	—
	落下検出がOFFになっています	落下検出が切( )の設定で電源を入れた。カメラを落とすとハードディスクが破損するおそれがあります。	133
	落下を検出したため電源を切りました	電源を入れるときやUSBケーブルを接続した状態でカメラを落とすと、ハードディスク保護のため自動的に電源が切れる。次に電源を入れるとこのメッセージが表示されるが、故障ではない。	—
	本機で初期化してお使いください	ハードディスクに不具合が発生し修復できない。ハードディスクを初期化してから使用する。	76
	バッファオーバーです 記録を中断しました	落下検出動作が繰り返し行われたため、一時的に記憶領域がいっぱいになった。いったんカメラを安静にしたあと、撮影を継続する。 落下が繰り返し発生する環境で使用するときは落下検出を切( )にする。	66 133
	カードがありません	カードが本機に入っていない。	78
	画像がありません	カードに再生する静止画がない。	—
	カードエラーです	• カードにエラーがあり、記録、再生できない。 • 「カードエラーです」が4秒後に消えて が赤色で点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。 が緑色に点灯すれば、そのまま記録、再生できる。 • 復帰しないときは初期化する。ただし初期化するとすべてのデータが消去される。	— 78 79
	カードがいっぱいです	カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、静止画を消す。	78 86

	メッセージ	どんな意味？	📖
お知らせ表示（約4秒間表示）	静止画モードです	静止画記録時にスタート/ストップボタンを押した。	30 80
	ファイル名が作成できません	フォルダー番号や画像番号が最大になった。「オートリセット」して、カードを初期化するか、静止画をすべて消してください。	69
	送信指定エラー	送信指定できる枚数（998枚）を超えたので、枚数を減らす。	117
	静止画像が多すぎます USBケーブルをぬいてください	• USBケーブルを抜いて、静止画が1800枚未満になるまでパソコンに移動するか、不要な静止画を消してから、USBケーブルを接続し直す。 • パソコンの場合、OSの設定によっては、パソコンのモニターに画面が出ることがある。画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	83 —
お知らせ表示	パソコンで安全な取り外しをするまでは • USBケーブルをぬかないでください • 電源をはずさないでください 接続中は電源OFFやモード切替はできません	本機を動画の再生モードにしてUSBケーブルでパソコンに接続すると表示され、本機の操作はできなくなる。この状態でUSBケーブルを抜いたり電源をはずしたりすると、本機のハードディスクのデータが破損するおそれがある。 パソコンで安全な取り外しを行ってから、USBケーブルや電源をはずしたり、本機の操作を行う。	—
	コンパクトパワーアダプターを接続してください	本機にバッテリーだけ取り付けて動画の再生モードにし、パソコンとUSBケーブルで接続した。本機にコンパクトパワーアダプターを接続する。	—
お知らせ表示（約8秒間表示）	動画データのバックアップは、定期的に行ってください	本機の電源を入れると表示されることがある。万一の故障やデータ破損に備えて撮影したデータを定期的にバックアップしてください。	133

メッセージが出たら?

メッセージ		どんな意味?
プリンター接続時	用紙エラー	用紙に異常がある。 プリンターの用紙が正しく入れられていないか、用紙サイズが間違っている。 また排紙トレイが閉じているときは、開ける。
	用紙がありません	プリンターに用紙が正しく入っていない、または用紙がない。
	用紙が詰まりました	印刷中に用紙が詰まった。 「中止」を選び印刷を中止する。用紙を取り除き、用紙を入れ直してから再度印刷する。
	インクエラー	インクに異常がある。インクを交換する。
	インクがありません	インクが正しく入れられていない、またはインクがない。
	インクが残りわずかです	インクの交換時期が近づいている。「続行」を選ぶと、印刷を再開する。
	インク吸収体が満杯です	お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口(プリンターに付属の一覧参照)に、インク吸収体の交換を依頼してください。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできません。
	ファイルエラー 印刷できない画像です	他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。
	印刷できない画像が＊枚ありました	他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を＊枚印刷指定して印刷しようとした。
	印刷指定が必要です	カード内に印刷指定をしている静止画がない。
	印刷指定エラー	印刷指定の設定可能な静止画の枚数(998枚)を超えた(108)。

プリンター接続時

メッセージ	どんな意味？
トリミングできない画像です	本機以外で撮影した静止画では、トリミングできないことがある。
トリミングの再設定が必要です	トリミングの設定後に「用紙設定」を変更した。
プリンタートラブル発生	「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。プリンターの状態を確認する。 それでもエラーメッセージが出るときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
印刷エラー	「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。プリンターの状態を確認する。
ハードウェアエラー	「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 プリンターの状態を確認する。
通信エラー	通信中にエラーが発生した。「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。 ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。または、大量の静止画が記録されたカードを使って印刷しようとした。静止画の枚数を減らす。
設定を確認してください	ボタンを使って印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっている。
サイズを選びなおしてください	ビデオカメラとプリンターで用紙サイズの設定が異なっている。
プリンターは使用中です	使用中です。プリンターの状態を確認する。

メッセージが出たら？

	メッセージ	どんな意味？
プリンター接続時	紙間レバー位置が不正です	紙間レバー位置を正しい位置に直す。
	プリンターカバーが開いてます	プリンターのカバーを閉じる。
	プリントヘッド未装着	プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良。

- 本機をPictBridge対応プリンターにつないだときに出るお知らせ表示の対処方法については、プリンターの説明書をあわせてご覧ください。
- キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズについて
  - ・プリンターのエラーランプが点滅しているときや、操作パネルや接続したテレビにエラーメッセージが出ているときは、必ずプリンターの説明書でご確認ください。
  - ・本書やプリンターの説明書を参考に対処をしてもエラーメッセージが表示されるときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとカードを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

ビデオカメラについて

本機はハードディスクにデータを記録しています。そのため以下のことに特にご注意ください。ハードディスクが損傷すると、記録した映像が失われる場合があります。

● 撮影したデータはバックアップする

万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータはパソコンやDVDなどに定期的にバックアップしてください(バックアップユーティリティ使用説明書(PDF))。パソコンをお持ちでない方はビデオ機器にダビングしてください。データが消失した場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

● 振動や衝撃を与えない

- ハードディスクは精密機器ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。ハードディスクが認識されなくなったり、損傷して記録した映像が失われたりする場合があります。
- 撮影・再生中と撮影終了後のHDDランプ点灯中は特に、本機に振動・衝撃を与えないでください。また、本機への振動が続くと録画や再生が停止することがあります。
- 大きな音のする場所で使用しないでください。
- 別売のショルダーストラップを取り付けているときは、本機を物にぶつけないようにしてください。

● 落下検出は通常は「入」にして使う

- 落下による衝撃からハードディスクを保護するため、本機には落下検出機能を搭載しています。無重力状態を検出すると保護機能が働き、録画や再生が停止することがあります。ただし、落下検出を「入」にしてもハードディスクを損傷するおそれはあります。また「切（ ）」に設定することもできますが、落下したときにハードディスクを損傷する恐れが高まります。
- 本機を動かすと、落下検出が働いて電源が切れることがあります。
- 本機が無重力状態になると、落下検出が作動します。ジェットコースターなど、本機を無重力状態で撮影すると、ハードディスク保護のための動作音が録音されることがあります。また、落下状態を繰り返し検出すると、撮影/再生が停止することがあります。

取り扱い上のご注意

● HDD動作ランプが点灯中/点滅中は電源を切らない

本機のHDD動作ランプが点灯中、または点滅中は撮影したデータをハードディスクに書き込んでいます。電源を切ったり、本機からバッテリーやコンパクトパワーアダプターを取りはずしたりすると、ハードディスクが損傷するおそれがあります。

● 本機の温度にご注意ください

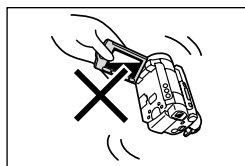
本機の温度が高すぎたり低すぎたりすると、ハードディスクのデータ保護のために録画/再生ができなくなることがあります。この場合は本機の液晶画面にメッセージ（📖 126）が表示されます。

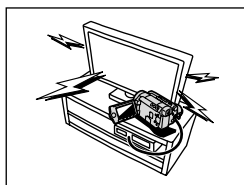
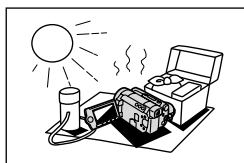
● 高地（海抜3000m以上）では使わない

気圧の低い場所（海抜3000m以上の高地）では本機の電源を入れないでください。ハードディスクを損傷するおそれがあります。

● 映像が正しく記録/再生できないときは初期化する

長期間、映像の撮影/消去を繰り返すと、ハードディスク内のファイルが断片化されて映像が正しく記録できなくなることがあります。そのときはハードディスクを初期化します（📖 76）。ハードディスクを初期化すると記憶されたすべてのデータが消去されます。必ず全データをパソコンやほかのビデオ機器などにバックアップしてから行ってください。

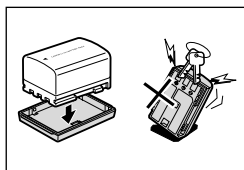
● 液晶画面をつかんで、本機を持ち上げない
● 液晶画面は、正しい位置に戻してから閉じる

● **テレビの上、プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所では使わない**

映像や音声が乱れることがあります。

● **太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない**

● **ホコリや砂、水、泥、塩分の多い場所で使用・保管しない**

本機は防水・防塵構造になっていません。ホコリなどが本機内部に入ると、故障の原因となります。

バッテリーについて

● **持ち運びや保存の際は、付属のショート防止用バッテリーケースを取り付ける（図A）**

金属で端子をショートさせる（図B）と、バッテリーの破損の原因となります。

（図A）　（図B）

● **端子はいつもきれいにしておく**

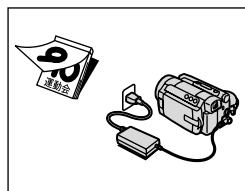
バッテリー、別売の充電器、本機の端子に物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

取り扱い上のご注意

● 充電は使用直前にする

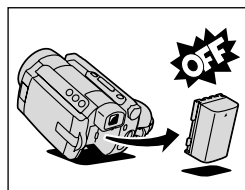
充電しておいたバッテリーも少しずつ放電します。

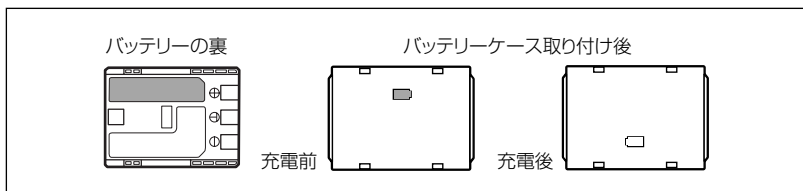
● 常温での使用時間が極端に短いときは

寿命と考えられます。新しいバッテリーをお求めください。

● 使用時間を長くするコツ

- こまめに電源を切り、10℃〜30℃のところで使用すると、長く使えます。
- スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

● 長い間保管するとき

- バッテリーが消耗するのを防ぐため、取りはずし、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

● **バッテリーケースの便利な使いかた**

バッテリーケースの「▭」の位置を付けかえることで、充電済みバッテリーを区別できます。

○ この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
○ リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
○ 交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
○ リサイクルに関するお問い合わせ先
- 製品、リチウム電池をご購入いただいた販売店
- 有限責任中間法人　JBRC
  ホームページ　http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
- キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン
  キヤノンサポートページ　canon.jp/support

カードについて

● **静止画などのデータは、パソコンでバックアップを取っておく**
カードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

● **強い磁気の発生する場所で使わない**

● **高温、多湿の場所に放置しない**

● **分解したり、ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない**

● **端子部分に触れない**

● **他のシールを貼ったりしない**

内蔵の充電式リチウム電池について

本機は充電式内蔵リチウム電池によって、日付などの設定を保持します。内蔵リチウム電池は、本機を使っている間充電されるため、約3ヶ月使わないと完全に放電します。

充電するとき（所要時間：24時間）

① 電源スイッチを 切 にする

② 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ

コイン型リチウム電池CR2025

捨てるときは、燃えないゴミとして適宜処理してください。
（地域によって異なります）

ビデオカメラやカードを廃棄するときは

内蔵ハードディスクとカード内のデータは、削除や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。本機を譲渡するときは、一度ハードディスクの初期化を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度初期化を行います。以前に記録されていたデータの復元を困難にすることができます。本機やカードを破棄するときは、本機（ハードディスク）やカードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。結露した状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。次のようなときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

どんな対処をする？

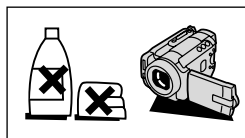
周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

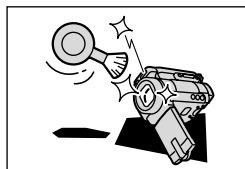
結露を防ぐには

- 極端な温度差にさらさない。
- 温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカードを取り出し、本機をビニール袋で密閉します。本機が移動先の温度になじんでから袋から取り出します。

日常のお手入れ

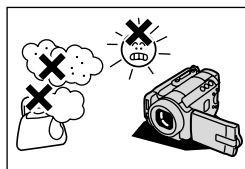
● 本機が汚れたとき

乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。化学ぞうきんやシンナーなどは、製品を傷めることがあるので使わないでください。

● レンズやファインダー、ハイスピードAFセンサーが汚れたとき

・ ブロアーでゴミやホコリを取り除き、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで軽く拭いてください。ティッシュペーパーを使わないでください。
・ レンズやハイスピードAFセンサーの表面が汚れていると、自動ピント合わせが動作しないことがあります。

● 液晶画面が汚れたとき

・ 市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
・ 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

● 長期間使わないとき

ホコリが少なく、湿度の低い、30°C以下の場所に保管してください。

海外で使う

本製品は、海外でもお使いになれます。本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ヶ所の標準時間を表示できます（28）。サマータイムのときは、エリアの右に☀が付くものを選んでください。

テレビで見る

本機で録画した映像を以下の国や地域などでご覧になる場合、映像/音声入力端子のついた日本で採用しているNTSC方式のテレビで見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 韓国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK放送文化研究所発行　「世界の放送2007」による）

電源について

コンパクトパワーアダプターCA-570は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグが必要になります。コンパクトパワーアダプターを海外旅行者用の電子式変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので、使用しないでください。

変換プラグについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

海外で使う

主な国/地域と使用するプラグの種類(参考資料)

●北米

アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ

アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア

インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア

オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米

アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東

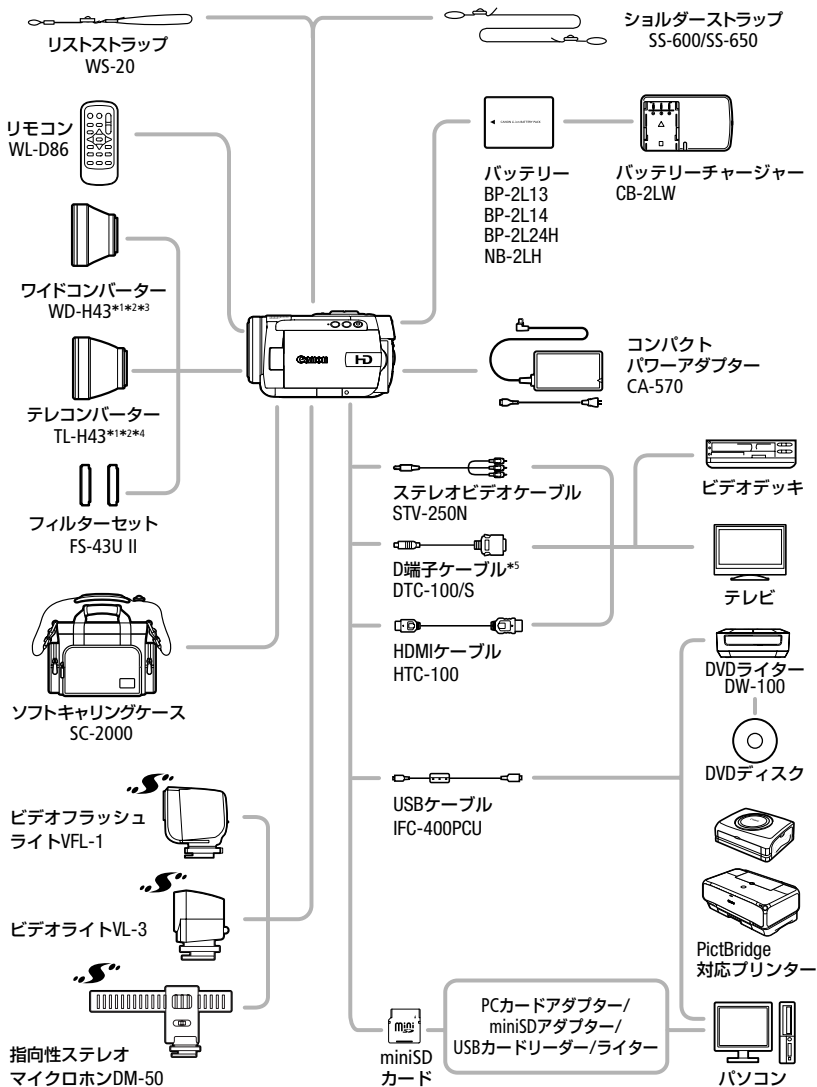
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ

アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。

ふろく

アクセサリー紹介

*1 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けて、ミニビデオライトやフラッシュを使用すると影が出ることがあります。
*2 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けると、正面からはリモコンの信号を受けにくくなります。少し斜めからリモコンを操作してください。
*3 本機にワイドコンバーターを取り付けて4：3の静止画を撮影する場合、ズームの位置によっては、ワイドコンバーターの枠が写り込むことがあります。
*4 テレコンバーターを使用した場合、ピントの合う距離はズームのT端で約3mとなります。
*5 ビデオデッキまたはテレビに接続するときに使います。

ご注意

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

● 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。

● 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。

● 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

● 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。

● 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

● 修理に出される場合のご注意（📖 120）を参照ください。

● 修理を依頼されるときは故障内容を明確にご指示ください。また、修理品をご送付の場合は、十分な梱包でお送りください。

補修用性能部品について

● ビデオカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後8年です。従って、期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましては弊社またはお買い上げ店にお問い合わせください。

修理料金について

● 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

● 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様

iVIS HG10 システム

ハードディスク記録	AVCHD規格 映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch
信号方式	NTSC方式準拠、1080/60i方式
記録メディア	ハードディスク（容量：40GB）
録画/再生時間	HXP：約5時間30分、XP：約9時間30分、SP：約11時間30分、LP：約15時間
撮像素子	1/2.7型CMOS、総画素数296万画素 有効画素　動画撮影時：約207万画素 静止画（16:9）：約207万画素 静止画（4:3）：約276万画素
液晶画面	2.7型TFTワイドカラー液晶（約21.1万画素）
ファインダー	0.27型TFTワイドカラー液晶（約12.3万画素）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=6.1－61mm　F=1.8－3.0（動画撮影時）　電動10倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 動画：約43.6 - 436mm、 静止画（16:9）：約43.6 - 436mm 静止画（4:3）：約40.0 - 400mm
レンズ構成	9群11枚、非球面レンズ2枚使用
焦点調整	TTL自動焦点（TTL＋外部測距：ハイスピードAF選択時）、 マニュアル調整可
フィルター径	43mm
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート（セット、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H 付）
最低被写体照度	0.2ルクス（ナイト（SCN）、シャッタースピード1/2秒時） 3.0ルクス（オートモード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ぶれ補正機能	光学式（シフト方式）
記録カード	miniSDカード（2GBまでのminiSDカードの動作を確認しています。すべてのカードとの互換については保証しておりません。）
カード記録サイズ	静止画：2048×1536、1920×1080、1440×1080、640×480 ハードディスク/カード同時記録時：1920×1080、848×480
カード記録規格	DCF準拠、Exif 2.2準拠、DPOF対応
画像圧縮方法	静止画：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）

*メニューで「フレームレート」を「PF24」に設定しているときは、24コマ/秒で撮影し、60iに変換してハードディスクに記録します。

iVIS HG10 入・出力端子（レベル/インピーダンス）	
映像/音声出力端子（AV端子）	Φ3.5mmステレオミニジャック、1Vp-p/75Ω -10dBv（47kΩ負荷時/3kΩ以下）
USB端子	mini-B
コンポーネント端子（特殊D端子）	Y：1Vp-p、75Ω PB/PR.CB/CR：±350mVp-p、75Ω D3（1080i）/D1（480i）対応
HDMIミニ出力端子	タイプC（19ピン）/出力のみ
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック（AV端子兼用）
外部マイク入力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック、-57dBV（600Ωマイク使用時）/5kΩ

iVIS HG10 電源その他	
電源電圧	DC7.4V（バッテリーパック）、DC8.4V（DCIN）
消費電力	ファインダー使用時：約4.4W、（録画中、AF合焦時、SPモード時） 液晶画面使用時：約4.6W、（録画中、AF合焦時、明るさ標準、SPモード時）
動作温度	0℃～＋40℃
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約81×75×129mm（グリップベルトを含まず）
撮影時総質量	約565g（バッテリーパックBP-2L13、miniSDカード含む）
本体質量	約505g

コンパクトパワーアダプター　CA-570	
電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力/消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V）～39VA（240V）
使用温度	0℃～＋40℃
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約52×29×90mm
本体質量	約135g

バッテリーパック　BP-2L13	
使用電池	リチウムイオン
使用温度	0℃～＋40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	1200mAh
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約33.3×25.8×45.2mm
質量	約60g

主な仕様

バッテリーBP-2L13（付属）とNB-2LH/BP-2L14/BP-2L24H（別売）の使用時間

付属のバッテリーBP-2L13と別売のNB-2LH/BP-2L14/BP-2L24Hをフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

録画モード		HXP		XP		SP		LP	
		液晶画面使用	ファインダー使用	液晶画面使用	ファインダー使用	液晶画面使用	ファインダー使用	液晶画面使用	ファインダー使用
連続撮影時間	BP-2L13	1時間45分	1時間50分	1時間50分	1時間55分	1時間50分	1時間55分	1時間50分	1時間55分
	NB-2LH	1時間5分	1時間5分	1時間5分	1時間5分	1時間5分	1時間5分	1時間5分	1時間5分
	BP-2L14	2時間5分	2時間15分	2時間15分	2時間20分	2時間15分	2時間20分	2時間15分	2時間20分
	BP-2L24H	3時間45分	3時間55分	3時間55分	4時間	3時間55分	4時間5分	3時間55分	4時間5分
実撮影時間*	BP-2L13	1時間5分	1時間5分	1時間5分	1時間5分	1時間5分	1時間5分	1時間5分	1時間5分
	NB-2LH	35分	35分	35分	40分	35分	40分	35分	40分
	BP-2L14	1時間15分	1時間15分	1時間15分	1時間20分	1時間15分	1時間20分	1時間15分	1時間20分
	BP-2L24H	2時間15分	2時間15分	2時間15分	2時間20分	2時間15分	2時間25分	2時間15分	2時間25分
再生時間	BP-2L13	2時間20分	–	2時間20分	–	2時間20分	–	2時間20分	–
	NB-2LH	1時間20分	–	1時間20分	–	1時間20分	–	1時間20分	–
	BP-2L14	2時間45分	–	2時間50分	–	2時間50分	–	2時間50分	–
	BP-2L24H	4時間40分	–	4時間55分	–	5時間5分	–	5時間5分	–

* 液晶画面またはファインダーの明るさを明るくしているときは、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。

バッテリーは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

iVIS HG10は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

iVIS HG10は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

さくいん

ア行

カ行

サ行

ふろく

さくいん

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

そのほか

■ 修理のお問い合わせは

修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

受付時間 平日 9:00～18:00

日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

- 故障状態や動作の不具合を確認させていただき、その上で修理方法のご案内をいたします。なお、故障状態のほかに、ご購入年月日と型名「iVIS HG10」であることをお伝えください。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター、QRセンター）をご案内いたします。
- 宅配便による修理品の発送、または、弊社によるお引き取り、お届けについてご案内いたします。

電話番号が050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。このときは、お手数ですがNTTの固定電話からおかけ直しいただくか、**043-211-9394**におかけいただくようお願いいたします。

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

■ デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/ivis

■ キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

■ CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店･購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

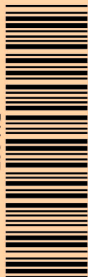
■本書の記載内容は2008年1月現在です

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

修理窓口

●札幌サービスセンター	〒060-0807	北海道札幌市北区北7条西1-1-2 SE山京ビル1F
●仙台QRセンター	〒980-0803	宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルヂング1F
●サービスセンター銀座	〒104-0061	東京都中央区銀座3-9-7 トレランス銀座ビルディング2F
●新宿QRセンター	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F
●横浜QRセンター	〒220-0004	神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI 横浜ビル2F
●名古屋QRセンター	〒461-0005	愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル1F
●大阪QRセンター	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島6-1-21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル2F
●サービスセンター梅田	〒530-0001	大阪府大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビルB1F
●広島サービスセンター	〒730-0051	広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビルヂング1F
●福岡QRセンター	〒812-0017	福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノンMJ福岡ビル1F
●東日本修理センター	〒261-0023	千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンMJ幕張事業所1F

休業日：銀座、新宿、梅田（日曜日、祝祭日）／その他（土･日曜日、祝祭日）
営業時間：銀座 10:00～19:00／新宿、梅田 10:00～18:00／その他 9:00～17:30

※ 所在地は変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

製品の使いかたがわからないときは

キヤノンマーケティングジャパン お客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

平日 9:00～20:00 / 土日祝日* 10:00～17:00

*1月1日～1月3日を除く

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9394をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

AVCHD™ HDMI

PUB. DIJ-267C